

目 次

主催者挨拶	2
木更津市長挨拶	3
第1章 ディスカッション概要	
1. 開催主旨説明	4
2. 実施概要・開催要項	5
3. 話し合いのルール・流れ	6
4. プログラム	7
第2章 第1討議テーマ	
テーマ：「高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～」	
1. 情報提供資料	8
2. ディスカッション結果	10
3. 第1討議テーマ結果まとめ	15
第3章 第2討議テーマ	
テーマ：「アウトレットの活かしかた～あなたが市長だったら？～」	
1. 情報提供資料	16
2. ディスカッション結果	21
3. 第2討議テーマ結果まとめ	26
第4章 アンケート結果	
1. 事前アンケート結果	27
2. 当日（参加者）アンケート結果	36
第5章 考察	
1. 「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」を終えて	40
第6章 参考資料	
1. 当日風景	41
2. 社団法人かずさ青年会議所と木更津市との協定書	42
3. 参加依頼書・参加申込書	43
4. 広報資料	44
5. 実行委員会組織表	46

主催者あいさつ

「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」と銘打ちましたこの市民討議会も、木更津市での開催は今年で5回目を迎えることができました。私たちのこの事業がこの地域に浸透していることと嬉しく思っております。今回、このような形で木更津市、そして木更津市民の皆様にご報告ができることに感謝申し上げます。

私たち社団法人かずさ青年会議所は「明るい豊かな社会」を作ることが目的として活動をしている団体です。様々な事業を行う中、まちづくり運動として、本年度もこの「かずさまちづくりディスカッション」を開催致しましたのは、この手法がこのまちに住んでいる私たち市民の声を行政に届け、よりよい行政の運営に反映して頂くことができる確実な手法であるから、と考えるからであります。

「市民の市民による市民のためのまちづくり」と言いますが、やはり自分たちの住む地域をより良いまちにしていこうためには、自分たちのまちは自分たちで作るんだという思い、私たち市民一人ひとりが積極的にまちづくりに関わっていくのだという思いが大切であると思います。この考えのもと、私たち青年会議所は「市民・行政・JC」三位一体のまちづくりの実践として、より広い範囲の市民参加が可能である「プラーヌクスツェレ」型の市民討議会を本年も開催させて頂いた次第です。プラーヌクスツェレ型の市民討議会は公平性・そして透明性が確保されており、参加された市民の皆様から積極的なそして責任ある意見を頂くことができる手法であります。

今回は「高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～」 「アウトレットの活かしカタ～あなたが市長だったら？～」という2つのテーマにて、活発な討論の結果、様々な貴重なご意見を頂くことができました。皆様のご意見は、今回報告書という形にまとめ、木更津市に提出をさせて頂く運びとなります。今回の「かずさまちづくりディスカッション」によって皆様から頂いた様々なご意見が市政に反映され、よりよい木更津市、住みやすい木更津市となることに繋がることを心より祈念致します。

この事業を開催するにあたって、今回も共催を頂きました木更津市水越市長、企画課をはじめとする木更津市役所の皆様、そして木更津市民の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げまして、主催者代表の挨拶とさせていただきます。

平成24年8月

社団法人かずさ青年会議所
理事長 堀内 正人

木更津市長あいさつ

社団法人かずさ青年会議所主催、木更津市共催によるこの市民討議会は、平成20年に始まって以来、今回で5回目の開催となりますが、毎回、大変、活気のある話し合いから貴重なご意見を多くいただいております。また、そうした貴重なご意見につきましては、報告書として毎回本市にご報告いただいております、各種計画の策定などの際に参考とするなど、市政運営に活用させていただいております。

さて、今回の市民討議会では、お申込みを頂いた19歳以上70歳以下の方の中から抽選で選ばれました22名の皆様に、二つのテーマに沿ってご討論をお願いしました。

1つ目のテーマである「**高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～**」につきましては、私の考える「市民力」を活かしたまちづくりに通じるものであり、前回のディスカッションでご討議いただきました「地域力～市民の力が地域を変える～」に引き続き、協働という考え方のもと、市民一人ひとりの力による街づくりにつながるものと考えております。

次に、2つ目のテーマである「**アウトレットの活かしがた～あなたが市長だったら？～**」につきましては、この4月に「街びらき」をいたしました金田東地区の、国内最大級を誇る「アウトレットパーク」を重要な地域資源の一つとしてとらえ、活用していくことが本市の更なる発展に大きく寄与するものと考えております。また、この金田東地区には商業施設の相次ぐ進出予定があり、縮小傾向でありました木更津の商圈が拡大に転じるものと大いに期待しております。

今後は関係団体と更なる連携を図り、様々な施策を打ち出すことにより地域経済の活性化を目指して取り組んで参りたいと考えております。

一方、木更津市は市制施行70周年という記念すべき年を本年迎えております。

このため、4月にマスコットキャラクターを新たに作成し、8月には「みなと祭り」、9月にはNHK公開番組「のど自慢」や「みなと木更津うみ祭り」、10月には「ちばアクアラインマラソン」や「木更津バル」、11月には市制施行70周年記念式典を準備しております。

私はこれらイベントの開催を市民の皆様とともにお祝いする場とし、そして地域の活性化に繋げていけるようにと考えております。

なお、この市民等議会の開催にあたり、熱意を持って取り組まれた社団法人かずさ青年会議所の皆様をはじめ、ご参加いただいた22名の市民の皆様、並びに関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成24年8月

木更津市長 水 越 勇 雄

第1章 ディスカッション概要について

1. 開催趣旨説明（ディスカッションの目的とねらい）

我々、社団法人かずさ青年会議所では、市民主導型社会の実現を目指し、市民意識の変革によって社会の変革を促していけるような活動を日々目指しています。

社会を変革しようと“システム”を変え“ルール”を厳しくしたところで社会を構成する市民一人ひとりの意識が変わらなければ本質的な解決には至らないのではないのでしょうか？ 逆を言えば、普通の市民がまちの問題に気づき、真剣に考え、行動していくことが社会を良い方向へ変えていく方法であると考えます。

今までも市民参加型の「タウンミーティング」や行政による「市民アンケート」などが行われていますが、本当に市民の声を届けることができていたのでしょうか？

このような背景から、市民の声を行政に届ける場の必要性を感じ、真の市民自治による協働のまちづくりを目指すために今回「かずさまちづくりディスカッション」を開催しました。

今回実施したディスカッションの方法は、ドイツにおいて広く実施され、市民参加の新しい手法として脚光を浴びている“プラヌンクスツェレ（※1）”と呼ばれるもので、今まで発言する機会を持たなかったサイレントマジョリティ（物言わぬ大衆）の意見を吸い上げるために、木更津市民19歳以上70歳以下の方の中から1,000名を無作為抽出し、市民参加を募ります。この無作為抽出により、限られた特定の人ではなく、専門家でもない、テーマの直接の当事者だけの集まりにならない一般市民参加により開催することができます。また、参加者の男女比率、年齢構成などが、木更津市民の構成と同様の傾向を示すこととなり、その意味では、参加者が木更津市の代表であるといえるのです。

その代表者によるグループディスカッションで出た意見を発表し、参加者による投票を行うことで得られた意見は、利権誘導の意見でもなく専門家の意見に偏ったものでもない、真の市民の声（意見）として扱うことができます。

ディスカッションで纏められた意見をこの「報告書」として行政に届けることにより、市民と行政の協働のまちづくりを推進していければと考えます。

また、このディスカッションを通じ、市民がよりよい生活のために何を求めているのか、どう行動すれば良いかという本音を引き出すとともに、そのような場を提供することで、参加者が今まで以上に、このまちに興味を持ち、自らが行動することの重要性を認識してもらうという市民意識の変革を期待したいと思います。

※1 プラヌンクスツェレ（Planungszelle＝計画細胞）とは？

ドイツ・ヴァパール大学のペーター・C・ディーネル（Peter C. Dienel）名誉教授により、1970年代に考案された市民参加の手法です。1990年に起こったドイツの統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入され、直接民主主義に対する意識が高まりました。こうした潮流の中、さまざまな市民参加の方法が生まれ、なかでもこのプラヌンクスツェレが脚光を浴びました。その定義と主な特徴は以下の通りとなっています。

★定義

『プラヌンクスツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』

「プラヌンクスツェレ（ディーネル教授 著）」より

★主な特徴（ドイツ型）

- ①話し合いへの参加者を16歳以上の市民から無作為抽出で選びます。
- ②参加者に謝礼を支払います。
- ③1グループ5人（通常5グループ25人で行う）に分けて、参加者のみが話し合いを行い、全体で投票を行います。（1日4コマ、4日間で16コマ）
- ④各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を受けます。
- ⑤まとまった結果を市民答申として公表します。

2. 実施概要・開催概要

実施概要

主 催	社団法人かずさ青年会議所
共 催	木更津市
協 定 書 締 結	社団法人かずさ青年会議所・木更津市 間で、平成24年3月15日 締結
実 施 日 時	平成24年6月24日（日） 午前10時～午後4時
実 施 場 所	木更津市民総合福祉会館 市民ホール（木更津市潮見2-9）
募 集 期 間	平成24年5月8日（木） ～ 平成24年5月31日（金）
募 集 方 法	19歳以上70歳以下の方の中から木更津市民1,000名を無作為抽出し参加依頼書を送付
募 集 定 員	25名（申込多数の場合は抽選）
メインテーマ	～より多くの声を市政に届けよう～
ア ン ケ ー ト	参加依頼書と同封でアンケートを送付（※参考資料添付）
参 加 条 件	参加依頼書が送付された宛先の方のみ参加

開催概要

当日参加者数 申込締切時に28名の参加依頼があり、抽選により25名の方に決定。

開催日当日は22名にて実施。

第一討議テーマ 「**高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～**」

情報提供者：ぷれジョブ木更津連絡協議会 能城和俊

第二討議テーマ 「**アウトレットの活かしがた～あなたが市長だったら？～**」

情報提供者：三井不動産株式会社 商業施設本部 商業施設運営事業部

運営推進グループ 高木有弥

ディスカッション A～Eの5グループ（5名×5グループ）に別れ、グループディスカッションをしていただく事とし、テーマ毎にくじ引きにてグループメンバーを決定し行いました。

各グループには、青年会議所メンバーがコーディネーターとして1名入り、討議の進行、サポートを行う事としました。また、グループメンバーの中で「進行役」「書記」「発表者」を決め、各自の意見を付箋に記入し、それを基にグループディスカッションをし、グループの代表意見として2つ以内にまとめていただきました。

討議時間は70分とし、ワークシートに付箋の貼付、意見の記入までをしていただきました。

発 表 と 投 票 発表者にディスカッション意見を発表していただき、その後休憩時間を利用し、各グループから出された意見に投票を行いました。

各自2票を有し、最も良いと思う意見に投票していただきました。

投票は1つの意見に2票投票することを可とし、自らの意見への投票も可としました。

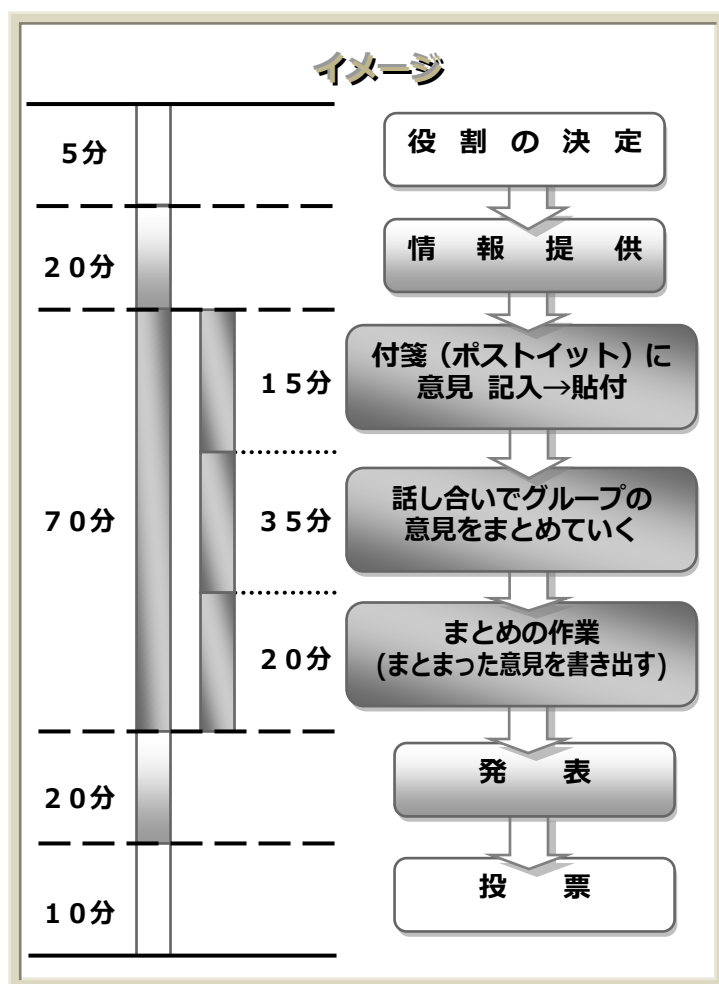
3. 話し合いのルール・流れ

話し合いのルール

- ① 討議の目的は、意見を交換し合い、グループの意見としてまとめること。
- ② 出てきたアイデアが実現可能かどうかこだわらないこと。
- ③ 他の人のアイデアを否定しないこと。
- ④ 全員が発言できるように配慮すること。
- ⑤ 他の人の意見を聞いて、自分の意見を変えるのも可能であること。

話し合いの流れ

【当日の流れ（イメージ図）】



【情報提供時の様子】



【ディスカッションの様子】



【主催者挨拶の様子】



【木更津市副市長挨拶の様子】



4. プログラム

かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津 開催プログラム

時 間	所要時間	内 容
9:30 ～ 10:00	30 分	開場・受付
10:00 ～ 10:10	10 分	開会式・共催者挨拶 木更津市役所 副市長 服部 善郎
		趣旨説明 かずさまちづくりディスカッション2012 実行委員長 大川 健士
10:10 ～ 10:30	20 分	コミュニケーションタイム 喫茶コーナーの利用・自己紹介および討議の進め方の説明
第1 討議テーマ	「高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～」	
10:30 ～ 10:50	20 分	第1 テーマ情報提供 提供者：ふれジョブ木更津連絡協議会 能城和俊
10:50 ～ 12:00	70 分	第1 テーマ討議
	15 分	①付箋への自由な意見記入と貼り付け (各人ごと※他の人との重複もかまわず、数多く)
	35 分	②意見交換 (他の意見を否定しない)
	20 分	③グループの意見をまとめ、書き出す
12:00 ～ 12:20	20 分	第1 テーマ グループ意見発表 (各グループ3分、移動1分)
12:20 ～ 13:10	50 分	第1 テーマ投票・昼食
第2 討議テーマ	「アウトレットの活かし方～あなたが市長だったら？～」	
13:10 ～ 13:15	5 分	主催者挨拶 社団法人かずさ青年会議所 理事長 堀内 正人
13:15 ～ 13:25	10 分	グループ替・自己紹介
13:25 ～ 13:45	20 分	第2 テーマ情報提供 提供者：三井不動産株式会社 商業施設本部 商業施設運営事業部 運営推進グループ 高木有弥
13:45 ～ 14:55	70 分	第2 テーマ討議 (討議の進め方は第1 テーマ同様)
14:55 ～ 15:15	20 分	第2 テーマ グループ意見発表 (各グループ3分、移動1分)
15:15 ～ 15:45	30 分	第2 テーマ投票
	20 分	アンケート記入
15:45 ～ 16:00		閉会式 写真撮影

第2章 第1討議テーマ

テーマ「高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～」

■情報提供資料

ふれジョブ木更津について



ふれジョブ木更津連絡協議会

木更津市地域自立支援協議会
イメージキャラクター

ふれジョブとは・・・

- 社会で働く楽しさを見いだす、障害のある子ども達の就労支援プログラムです
- 地域の協力企業の中から、自分がやってみたい、できそうな仕事を選択します
- 放課後や土日等の休日を利用して行います
- 1週間に1時間を、6ヶ月行います

ふれジョブの主な役割

チャレンジド



対象者

- ▶ 小5～高等部3年生
- ▶ 木更津市在住
- ▶ ふれジョブの登録をされた方
- ▶ 各自で保険に加入していただきます

ふれジョブの支援者 ①

ジョブサポーター



どんな人？

- ▶ 働くサポートをしていただくボランティアです
- ▶ 特別な資格は必要ありません
- ▶ チャレンジドと一緒に仕事体験をして、子どもにあったサポートをします

ふれジョブの支援者 ②

サポート企業



企業の方へ

- ▶ 職場体験の場を1週間に1時間程度、提供してください
- ▶ 期間は6ヶ月です
- ▶ 保険に入っているので安心です

ふれジョブの支援者 ③

事務局



事務局の役割

- ▶ チャレンジド、ジョブサポーター、サポート企業などの登録を行います
- ▶ 情報の提供、収集、サポート企業とチャレンジドのマッチングを行います

ふれジョブの流れ ①

待ち合わせ



サポート企業の前で、ジョブサポーター（ボランティア）と待ち合わせをします

ふれジョブの流れ ②



企業

サポート企業の企業担当者より、その日の仕事内容を教えてもらいます

ふれジョブの流れ ③



ジョブサポーター（ボランティア）と一緒に仕事体験をします（1時間）

ふれジョブの流れ ④



サポート企業からその日の仕事を評価してもらいます

ふれジョブの流れ ⑤



ジョブサポーターにその日の様子を教えてもらい、帰宅します

ふれジョブを行うと・・・

チャレンジド（子ども）

- ▣ 様々な仕事があることを知る
- ▣ 将来の目標ができる
- ▣ 周りからほめてもらうことで自信がつく

ふれジョブを行うと・・・

ジョブサポーター

- ▣ チャレンジドと一緒に仕事体験が楽しい
- ▣ 地域の中で役にたつ存在になる
- ▣ チャレンジドの成長が楽しみ

ふれジョブを行うと・・・

サポート企業

- ▣ チャレンジドのおかげで職場が明るくなる
- ▣ 地域のために貢献できる

ふれジョブを行うと・・・

家庭では・・・

- ▣ 自分からあいさつやお手伝いができるようになる
- ▣ 仕事の得意不得意がわかる
- ▣ 地域の人と繋がることできる

ふれジョブを行うと・・・

学校では・・・

- ▣ ふれジョブで体験したことが学校の活動でも生かすことができる
- ▣ 学習活動に自信がつく
- ▣ コミュニケーションの力がつく

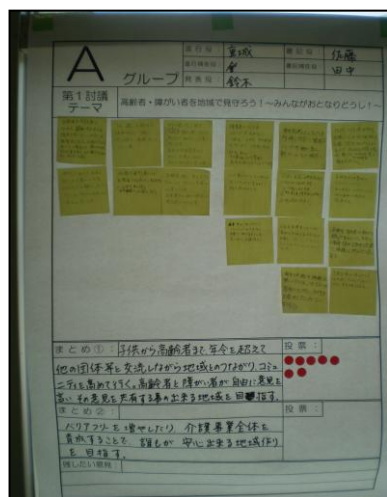
目指すは・・・
障害のある人もない人も
ともに支え合う街づくり



2. ディスカッション結果

各グループ ワークシート記載内容

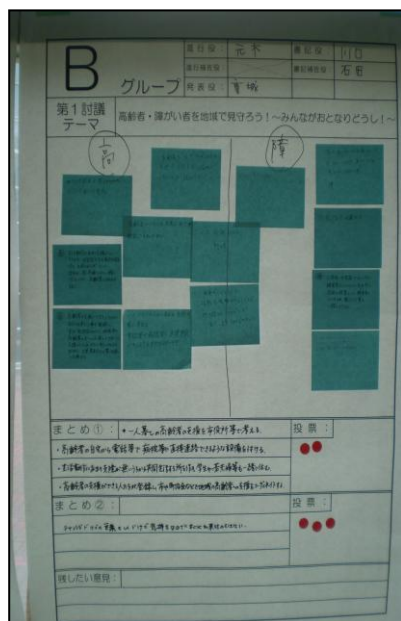
●【第1テーマ】Aグループ



まとめ1	子供から高齢者まで、年齢を超えて、他の団体等と交渉しながら地域のつながり、コミュニティを高めていく。高齢者と障がい者が自由に意見を言い、その意見を共有する事の出来る地域を目指す。
【投票】 7 票	
まとめ2	バリアフリーをふやしたり、介護事業全体を育成することで、誰もが安心できる地域づくり」を目指す。
【投票】 0 票	
残したい意見	
【投票】 0 票	

付箋（皆さんからの意見）	・高齢者を見守る為に、とにかく関わりを増やさなければならない。いきなりは無理だと思う。子供のうちから、挨拶等をして顔なじみになる必要がある。その親が率先してやらないと。 ・時間にゆとりのできる世代の人たちがいます。ボランティアの輪を広げて行くと、市役所を圧迫しないで済むと思います。 ・「お互い様」の精神を木更津市住民が「強く」思う様な環境づくりをしていくこと。 ・地域で見守る為には、高齢者になる前から積極的に子供たちに関わる。保育園や幼稚園に行く。 ・中3の娘は話を聞きくと子供たちの高齢者、障がい者に対する考え方が歪んでいる事を感じます。家庭や学校教育からモラル、礼儀を改めて考えて行くべきだと思います。 ・高齢者障がい者を見守る為には、やはり予算が必要となる。木更津市の益々の繁栄が不可欠となります。 ・障がい者についてはイメージがわからない。それは普段関わりが少ないので、偏見なども沢山ある。その為、「ぶれジョブ」等で生活の中に入ってくると良いと思う。 ・一人暮らししている方に対してボランティアで見回りする人間を付ける。 ・障がい者について「ぶれジョブ」だけではなく、実際に働けるように企業に対してお願いする。	・障がい者の考えていることを理解して話合い、読取ることで、事をスムーズに運ぶ。 ・とにかくお互いの顔が見えないことには不安。一人で働くのも不安。 ① 年齢・障がい者のつながり ② 地域のつながり ・元気な高齢者の方たちが、参加できるボランティアを開く。特にここで若者達との交流が図れるのが理想。 ・相手の立場を理解して、悪い事はわかるように指導して行く。悩まず正面からぶつかって話合う。 ・地域での交流を増やす。女同士は繋がり易いが、男同士はその辺りが苦手な為、その辺りの対策を考え、まず親同士が輪を広げていく。 ・高齢者たち集まれるコミュニティづくり。老人会をもっと大きくしたり、他の団体との交流を促進する。 ・高齢者、障がい者は声をかけ、地域で見守って、まわりの理解を深める。相手の立場を理解して面倒をみる。 ・高齢者、障がい者の方たちが市政に参加できるようにする。意見を取り入れる。
--------------	---	---

●【第1テーマ】Bグループ



まとめ1	・一人暮らしの高齢者の支援を市役所等で考える。 ・高齢者の自宅から電話等で病院等に直接連絡できる様な設備を付ける。 ・生活動作にあまり支障が無いうちから、共同体生活する場所をつくり、学生や若夫婦等も一緒に住む。 ・高齢者の支援が出来る人たちが登録し、市や町内会などで、地域の高齢者への支援をコーディネートする。
【投票】2票	
まとめ2	チャレンジなどの言葉をいじけど、気持ちなのですから出来るものではない。
【投票】3票	
残したい意見	
【投票】0票	

高齢者

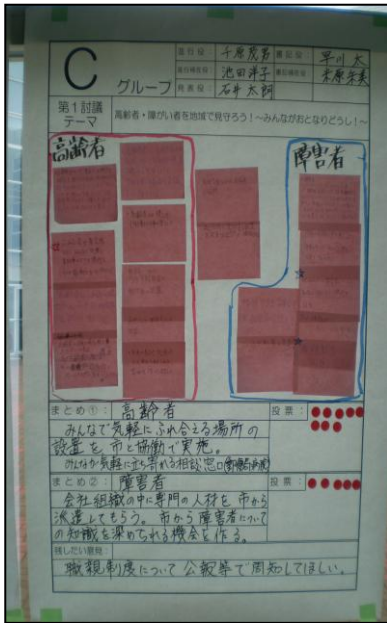
- ・地域社会の参加してもらおう。ボランティアに参加。
- ・高齢者の一人で住んでいる方のサポートをした方が孤独にならずに済むのでは。
- ・高齢者については元気で生きがいをもってもらおう。
- ・心に余裕がないと無理。
- ・家庭がどのくらい情報を提供していくかで地域とのつながりが出で、見守るのではないかな。
- ・生活動作にあまり支障がないうちから、共同生活する。
- ・集合住宅を作り、出来るならばそこに学生や若い夫婦たちと一緒に住むことで、高齢者の孤独を防ぐ。
- ・高齢者の支援が出来る人たちが、自分ができる事を登録し、市や町内会などで、地域内の高齢者の方への支援をコーディネートして、支援した人にポイント制でポイントを付加し、木更津市内で買い物券と交換する。
- ・一人暮らしの人の支援を市役所等で考える。
- ・電話等で病院等に直接連絡出来るような設備を付ける。

障がい者

- ・地域とのつながりが難しい。
- ・障がい者に対しての知識がないが、近所にいれば声掛けなどやっていけると思う。
- ・「ぷれジョブ」を勧める。
- ・小学校、中学校の近所に障がい者の人たちの工房をつくり、学校の授業として障がい者の人たちと制作作業を一緒に行う。
- ・外にでて情報が入ってくる人は良いけど、引きこもっている人の支援は少ない。広報に書いてあると利用するのに。

付箋(皆さんからの意見)

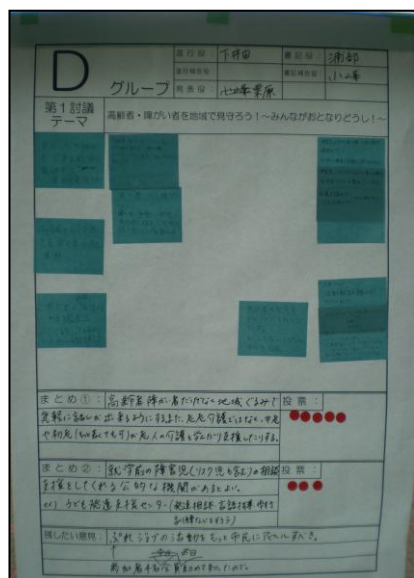
●【第1テーマ】Cグループ



まとめ1	高齢者 みんなで気軽に触れ合える場所の設置を市と協働で実施。 (みんなが気軽に立ち寄れる相談窓口(郵便局・病院))
【投票】 8 票	
まとめ2	障がい者 会社組織の中に専門の人材を市から派遣してもらう。 市から障がい者についての知識を深められる機会をつくる。
【投票】 5 票	
残したい意見	職親制度について広報等で周知してほしい。
【投票】 0 票	

付箋 (皆さんからの意見)	高齢者 ・高齢者同士で集まり、お散歩やお茶会を週に何回か地域で行う。その中で休んだ方がいれば、気かけ、声を掛け合っていけば、孤独死であったり、介護の息抜きになるのではないかと思います。 ・公民館や集会場などみんなで気軽に集まる事が出来る場所を、市と協働でもっと作っていく。 ・高齢者のふれあいの場所を、地域へふれあいの設備を設けてほしい。 ・高齢者の情報の場を持てふれあいの場を ・市が積極的にホームヘルパー等を導入してほしい。 ・各町内会に民生委員以外にキーマンとなる担い手を確保してほしい。市は担い手の育成支援をしてほしい。 ・高齢者との接し方。(体を動かす事の楽しさ) ・郵便局などの町内、学校単位で相談員の設置。 ・病院などに相談窓口の設置。 ・市民の考えや気持ちをもっと右傾売れてくれる窓口を作してほしい。	障がい者 ・ユニクロのような大きな企業で障がい者の枠として、採用枠を設けていて、そうした取り組みは周りに負担がかかったりする面もあるが、みんな助け合いなので、心が豊かになったり良い面もある。 ・会社の組織の中に専門の部署を作ったり、市から人材を派遣してもらう。 ・地域の人々に障がい者についての知識を深めてもらう機会を作る。 ・特別支援学校を木更津市内に設けてほしい。 ・しょうや制度を設置してほしい。 ・市が積極的にホームヘルパー等を購入してほしい。 ・職親制度について、広報などで周知してほしい。

●【第1テーマ】Dグループ



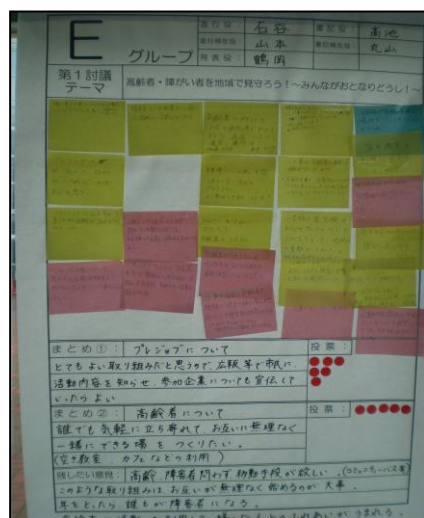
まとめ1	高齢者・障がい者だけではなく地域ぐるみで気軽に話しができるようにする。また、老老介護ではなく、中老や初老（もっと若くても可）が老人の介護を学んだり支援したりする。
【投票】5票	
まとめ2	就学前の障害児（リスク児も含む）の相談支援をしてくれる公的な機関があるとよい。
【投票】3票	（例）子ども発達支援センター （発達相談・言語相談・歩行訓練などを行う）
残したい意見	参加者4名全員が本日初めて知ったので「ふれジョブ」の活動をもっと市民にアピールするべき。
【投票】0票	

付箋（皆さんからの意見）

- ・ 老化した手助けを出来る範囲で援助する（「お助け活動」ex）通院の手伝い。
- ・ 高齢者の自立支援、手・足・頭の老化防止運動。
- ・ 高齢者の高齢者施設への体験運動。
（自分で見て不自由な状態を体験できる）
- ・ 高齢者・障害者だけでなく自分の家の近くに住んでる人達と気軽に話が出来るようにする。
- ・ 老老介護ではなく老を（中老・初老・もっと若くてもよい）が介護を学べる場。
- ・ 参加者4名全員が「ふれジョブ」を知らなかった。
- ・ もっと市民にアピールすべきでは。
- ・ 障害児を市内で育てる際、公的な専門機関がない。→必要な療育を早期に受けられない。
- ・ 障害児（リスク児も含む）を育てる場合、就学前まで子育てがしにくそう。
- ・ 発達支援センター、こども支援センターなどがあるとよい。

- ・ 「ふれジョブ」活動報告を市民にもっとアピールすべき。
- ・ 「ふれジョブ」で1週間に1時間では仕事の楽しさは解るだろうが辛さの部分も知ってもらえるのだろうか？
①提案してシール貼りの内職などやらせてみたらどうかしら？
②内職では辛いからそのフォローが大変かな？

●【第1テーマ】Eグループ



まとめ1	とてもよい取り組みだと思うので、広報等で市民に活動内容を知らせ、参加企業についても宣伝していったらよい。
【投票】6票	
まとめ2	誰でも気軽に立ち寄れて、お互いに無理なく一緒にできる場をつくりたい。(空き教室・カフェなどの利用)
【投票】5票	
残したい意見	・高齢・障害者問わず、移動手段が欲しい。(コミュニティバス等) ・このような取り組みはお互いが無理なく始めるのが大事。 ・年をとったら誰もが障害者になる。 ・布絵本の活動を利用して様々な人とのふれあいがうまれる。
【投票】0票	
付箋(皆さんからの意見)	・障害者が仕事に就くための手助けとなる活動として「ふれジョブ」は良いと感じた。 ・ふれジョブの取り組みは初めて知ったが、とてもよいと思う。 ・ふれジョブをした子ども達が卒業した後、就職状況はどうなっているか？ ・こうした活動について市のほうで広報活動をしてやっているという事を伝えてほしい。 ・ふれジョブは人と人とが関わる活動なのでは？就職とか雇用に直結するものではない。 ・ふれジョブをしている企業を市で宣伝してみてもどうか？関心が高まるし参加したい企業も増えるのでは？ ・高齢者が自由に集まれる場所を作ってもらえないだろうか？ ・空き教室を利用してみてはどうか？ ・施設や行政だけではなく地域の皆が集まれる場所がほしい。 ・年をとるということは障害者になるということ。 ・布絵本の活動を地域に取り入れてはどうでしょうか？ - 東京すずらん文庫 渡辺順子氏→君津市役所 ・企業や市民団体で市民のコミュニティバスを運営してみてもどうか？市がそれらのサポートをする形。 ・障害者という言葉で一般人と隔てている感じがある。 ・高齢者に対してもお店や病院等でやっているような送迎バスの運営・運行は？(袖ヶ浦・ガウランド 君津・コミュニティバス) ・木更津いきいき館 体力づくりなどのプログラムをより参加しやすくしては？ ・シルバーセンターボランティア、高齢者のシステム ・高齢者の方にもこういった地域参加型の活動があればよいのではと思う。 ・仕事ではなく高齢者や障害者の方達と一緒に楽しめる、遊べる活動があってもよいのでは？してあげる、やってあげるではなく一緒にやるという機会をもっと多くしたい。 ・高齢者もふれジョブの仕組みを利用して仕事に限らずボランティア活動に取り組むことができるのでは？(子どもと遊ぶとか)無理なくできる事 ・一人暮らしの高齢者の見守りは現在どうなっているのか？ ・高齢者と保育所とのつながりをうまく活かしている地域もあるか？このようなことはなされているか？ ・小学校の登下校や折り紙サークルなどでボランティアとして地域への貢献がされている。どんどん広げていては？ ・高齢者の買い物に便利なバス路線の見直しなども検討してほしい。 ・お互いが無理なく出来ることから始める。

3. 第1 討議テーマ結果まとめ

●得票上位3 意見（獲得数／有効投票数）（支持率）

1 位：みんなで気軽に触れ合える場所の設置を市と協働で実施。

（みんなが気軽に立ち寄れる相談窓口（郵便局・病院））

（獲得数8 票／42 票＝19 %）

2 位：子供から高齢者まで年齢を超えて、他の団体等を交渉しながら地域のつながり、コミュニティを高めていく。高齢者と障がい者が、自由に意見を言い、その意見を共有する。

（獲得数7 票／42 票＝16 %）

3 位：とても良い取り組みだと思うので、広報等で市民に活動内容を知らせ、参加企業についても宣伝していったら良い。

（獲得数6 票／42 票＝14 %）

●コーディネーター総括

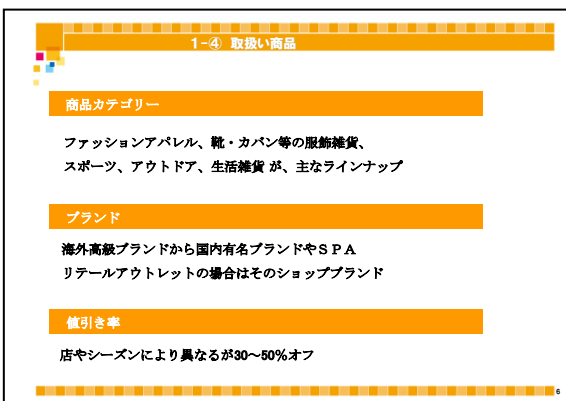
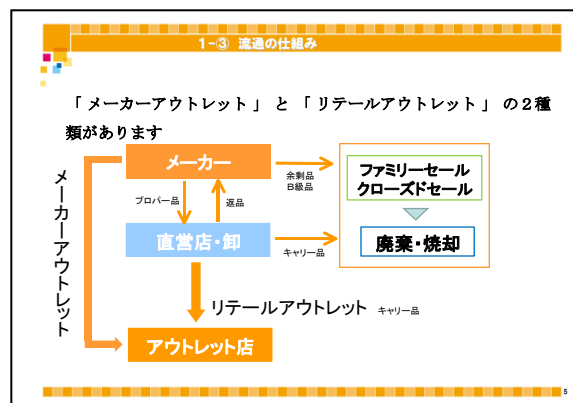
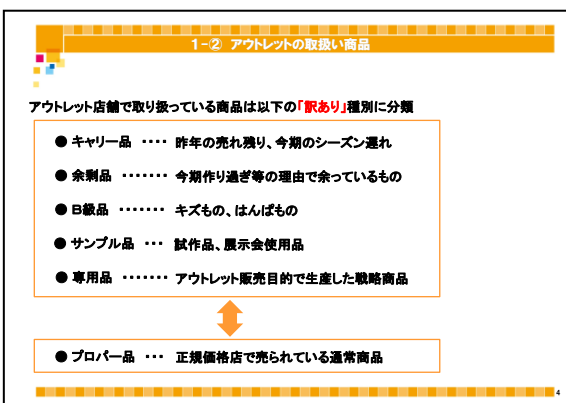
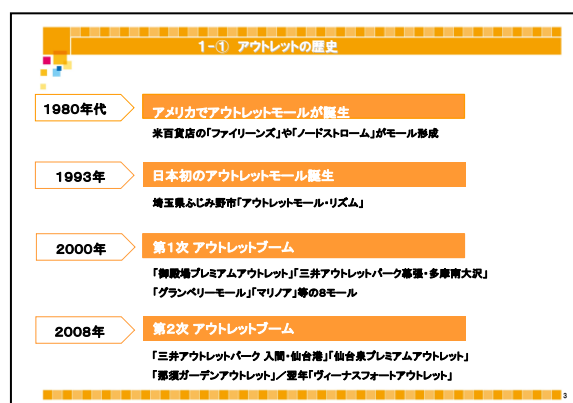
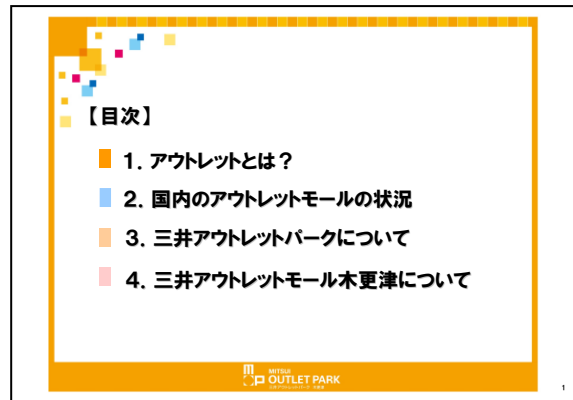
参加者全員が初対面という状況の中で、ディスカッションを行って頂きました。やはり当初は中々意見がでず、苦勞しているように見受けられました。しかし進行役を中心とし、時間の経過とともに色々な意見がでるようになってきました。

テーマが「障がい者・高齢者」に対するものであったためか、漠然としていて、何をディスカッションして良いものか困惑する部分もあったかとも思われます。しかし、ポイントを絞ってディスカッションを進めていくうちに、各年齢層で感じたことや、地域の特性、参加者の職場での経験談等を基に多くの意見が出され、第1 テーマについてのディスカッションは終了致しました。

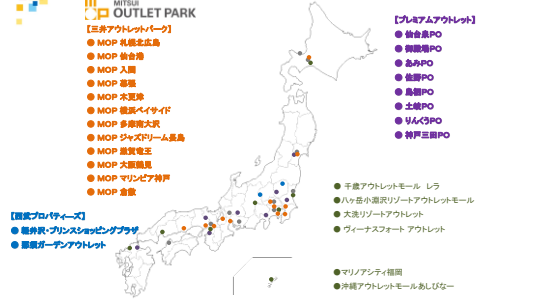
第3章 第2 討議テーマ

テーマ「アウトレットの活かしかた～あなたが市長だったら?～」

■情報提供資料



2-① 国内のアウトレットモール

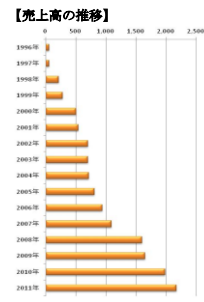




3-② 三井アウトレットパークの歴史

ポイント

出店者の賛同が得られにくく誘致に苦勞



3-③ 顧客のターゲット

[illegible]

● 女性20代～30代

● 有職OL、ヤングミセス

親子、カップル、夫婦、おひとり

- 他人と同じ格好はしたくない

- 買い物先を合理的に使い分け

- 情報収集に長けている

3-4 三井アウトレットパークの特徴

- 公共の交通機関で行ける
- 駐車場完備なので車でも行ける
- 都心から1時間以内で行ける

4. 三井アウトレットパーク木更津について

4-1 施設概要

～海沿いの自然豊かな房総の地に生まれる新しいリゾート～

所在地 千葉県木更津市中部398番地

交通 東京湾アクアライン「本更津金田IC」から約1km
東京湾アクアライン連絡道「旭ヶ浦IC」から約4.5km
本更津金田バスターミナルから約1km
JR内房線「旭ヶ浦駅」から約2km

敷地面積 約215,000㎡ (約65,200坪)
店舗面積 約28,000㎡ (約8,500坪)

店舗数 171店舗
建物規模 地上1階建
駐車台数 約4,300台(敷地内)
※駐車料金は終日無料

営業時間
ショッピング 10:00～20:00
※4/13、14～5/6の土日祝は21:00まで営業
カフェ 9:30～21:00
フードコート 10:30～21:00
レストラン 11:00～21:00

4-2 立地

東京湾アクアラインの千葉県側着岸点である本更津金田ICに近く、首都圏広域からのアクセスに優れた立地

アクアラインETC割引による利用客の増加

本更津金田ICからの新設道路が整備

当施設は「かずさアクアシティ」内に立地

4-3 アクセス

東京・新宿・品川など東京都心部や、横浜・川崎など神奈川方面からも東京湾アクアライン利用で車60分以内の好立地

4-3 アクセス

東京・横浜地区のターミナル駅からの直行バスも運行予定。本更津駅・旭ヶ浦駅からの路線バスも運行し、公共交通機関でのアクセスにも対応

路線	バス	所要時間
東京駅(八重洲口) → 本更津金田バスターミナル	東武バス	約40分
本更津金田バスターミナル → 旭ヶ浦駅	旭ヶ浦バス	約5分
新宿駅西口 → 旭ヶ浦駅	東武バス	約62分
旭ヶ浦駅 → 本更津金田バスターミナル	旭ヶ浦バス	約12分
川崎駅西口 → 旭ヶ浦駅	東武バス	約44分
旭ヶ浦駅 → 本更津金田バスターミナル	旭ヶ浦バス	約12分
横浜駅西口 → 旭ヶ浦駅	東武バス	約45分
旭ヶ浦駅 → 本更津金田バスターミナル	旭ヶ浦バス	約12分
横浜駅西口 → 旭ヶ浦駅	東武バス	約42分
旭ヶ浦駅 → 本更津金田バスターミナル	旭ヶ浦バス	約12分
羽田空港 → 旭ヶ浦駅	東武バス	約37分
旭ヶ浦駅 → 本更津金田バスターミナル	旭ヶ浦バス	約12分

4-4 商圏について

絶好のアクセス環境を備え、首都圏全域に広がる商圏人口はおよそ2200万人

自動車による時間距離マップ

時間	人口
0～30分	約 46万人
0～60分	約 850万人
0～90分	約 2200万人

4-5 開発コンセプト

BOSO CITY RESORT

海沿いの自然豊かな房総の地に生まれる新しいリゾート

東京湾岸に位置し、潮干狩りができる自然豊かな海岸を持つエリア。

首都圏からの玄関口として、房総半島に広がる海・山のリゾートの雰囲気を感じられると同時に、居心地の良いショッピング空間を提供、これまでにない新たなリゾートの形を提案。



4-⑧ ショップ情報

約650席のフードコートとレストラン・カフェには
地元の人気店を含む各地の人気グルメが集結

フードコート

カフェ・レストラン

4-⑧ ショップ情報

■地元千葉からの出店■

もっば茶屋
地元千葉の食材と地産にこだわりの地産地消。かわいらしいお土産の定番。名産品と旬の食材を、天然木のぬいぐるみに包み、盛り込んだこだわりのわっぱ箱を提供。

もっば茶屋
地元千葉の食材と地産にこだわりの地産地消。かわいらしいお土産の定番。名産品と旬の食材を、天然木のぬいぐるみに包み、盛り込んだこだわりのわっぱ箱を提供。

もっば茶屋
地元千葉の食材と地産にこだわりの地産地消。かわいらしいお土産の定番。名産品と旬の食材を、天然木のぬいぐるみに包み、盛り込んだこだわりのわっぱ箱を提供。

もっば茶屋
地元千葉の食材と地産にこだわりの地産地消。かわいらしいお土産の定番。名産品と旬の食材を、天然木のぬいぐるみに包み、盛り込んだこだわりのわっぱ箱を提供。

4-⑨ 観光施設との連携

千葉県内の周辺観光施設と連携し、
房総エリア全体の観光イメージアップを図る

フードコート内には千葉県観光情報センター（チーパケン）を併設。周辺観光施設の情報を提供し、房総エリア全体の観光イメージアップを図る。

ホームページでは、観光施設とタイアップした観光施設の紹介コンテンツを展開。

4-⑨ 観光施設との連携

房総エリアの観光資源を活かし、観光バスツアーの造成に注力

観光バスの積極的な受入れ
4月12日（金）には先行してプレオープンツアーを開催。

大型バス駐車場約40台完備
（無料・完全予約制）

三井アウトレットパーク 木更津HPより申し込み可能。
乗務員・添乗員様の休憩室もご用意。（無料）
※お申し込みは1日（金）まで受け付け。

お買い物の際にお得な割引や、サービスが受けられるうれしい特典。是非、ツアー造成の際にツアーポイントの1つとしてご利用ください。

4-⑩ インバウンド対応について

羽田・成田からも好アクセス。
中国を中心とした訪日外国人向けサービスを強化

4ヶ国語対応表記

フロアマップ、案内サイン、ホームページ、クーポンブックを4ヶ国語（日・英・中・韓・露）対応の表記に。

銀聯カード決済システム全店導入

中国人の多くが買い物に利用する「銀聯カード」を全店舗に導入。

全店にコールセンターサービスを実施

全店にコールセンターサービスを実施。コールセンター・外国語スタッフの活用によりお買物をサポート。

指差し確認シート全店導入

言葉が分からなくても、指差し確認シートを全店舗で導入。

4-⑩ インバウンド対応について

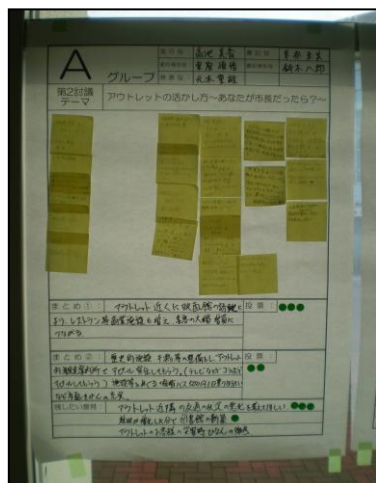
海外のお客様にも対応できるよう4ヶ国語対応表記に。

【英語】日本語
【中国語】簡体字／繁体字／韓国語

2. ディスカッション結果

各グループ ワークシート記載内容

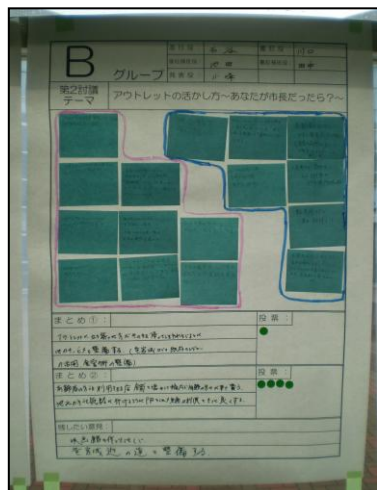
●【第2テーマ】Aグループ



まとめ1	アウトレット近くに映画館の誘致により、レストラン等商業施設も増え、集客の大幅増員につながる。
【投票】3票	
まとめ2	歴史的施設、干潟等の整備をし、アウトレット内観光案内所でアピール、宣伝してもらう。(テレビなどでコラボでアピールしてもらう。)施設等をめぐる循環バス500円1日乗り放題など交通機関の充実。
【投票】2票	
残したい意見	・アウトレット近隣の、交通状況の悪化を考えてほしい。 ・税収が増加した分で図書館の新築。 ・アウトレットのお客様の災害時、避難の徹底。
【投票】4票	

付箋(皆さんからの意見)	・映画館を早く作ってほしい(市民の要望集客) ・映画館をつくる。 ・道路が分かりずらく、もう少し分かりやすくしたい。 ・買い物だけではなく、映画館などのアミューズメントパークを作りたい。 ・コンサートなどを出来る場所をつくる。 ・駅前そごうビル内に映画館、レストラン等をつくる。 ・駅前の駐車場の完備。 ・木更津市の歴史施設の宣伝等。 ・アウトレット内以外で提供するものを作る。(アウトレットの中で食べられないもの) ・木更津駅前に来なければ食べられない、買えないものは何か? ・循環バス500円1日乗り放題。 ・木更津のアウトレットを通して他の市、県から来た人々を観光に誘致できたらよい。今、海ほたるへ無料のツアー→木更津市内の観光。 ・潮干狩り、BBQができる場の提供。見立てではBBQできる、もっとアピールをすべきでは。	・海の資源の復活(あさり等)。潮干狩り、すだて等の客の誘致、宣伝。テレビ番組とコラボしたらどうか。 ・わくわく市場の建物のリニューアル、イベント。 ・レストラン、フードコートもあるが、近くに地元ならではの店を出店、車などででもしてはどうか? ・アウトレット内の観光案内所のリゾートの仕方、有効活用、提案をする。(コンセプト 海、山のリゾートの雰囲気とを感じるから、本物の自然を感じる、遊ぶ。) ・アクアラインの高速化で東京首都圏から40分ぐらいで来られる魅力的で良い、800円料金で良い。木更津はまだ未開発地域でまだ開発の余地はある。 ・規格外商品として値段も手頃で30~40%と安く魅力的で良い、ターゲットも30~40才台で、若い20~30才にも、駐車場4500台も良い。 ・アウトレットに来たお客様に2度目の来訪をする為のアイデアを考える。 ・MOPにより市の税収UPできたら図書館や市民会館をよりよいものへ。(君津、袖ヶ浦などとの比較) ・災害時、すぐに避難出来るルートを確認にする。 ・災害時のルートブックを作る。(地区ごとの) ・交通の状況、見直し。交通事故の減少。
--------------	---	--

●【第2テーマ】Bグループ



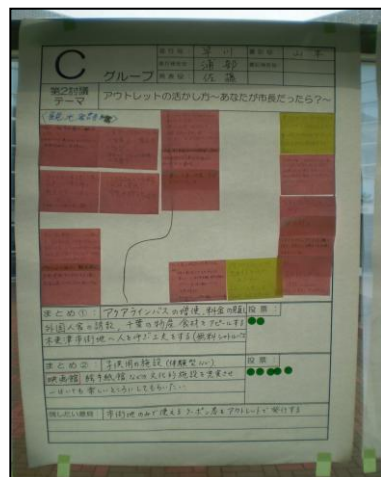
まとめ1	アウトレットに立ち寄った方がそのまま帰ってしまわないように他サービスを整備する。(竜宮城などの既存レジャーの活用、食堂街の整備)
【投票】1票	
まとめ2	・高齢者の方でも利用できる店舗を増やして幅広い年齢の方々に来て貰う。 ・地元の方でも気軽に行けるようにPRをしたり、交通の利便をもっと良くする。
【投票】4票	
残したい意見	・映画館を作ってほしい。 ・竜宮城までの道を整備する。
【投票】0票	

付箋(皆さんからの意見)

- ・アウトレット発の木更津観光ツアーの企画、木更津市内の名所の開発。
- ・木更津市内の店等の、利用促進のためにスタンプラリー等の企画。
- ・全国的に宣伝するのは良いですが、地元に対しての宣伝が足りないのでは？
- ・ブランドを扱っているのは良いが敷居高そう。
- ・長居していただくために、木更津のレジャーの宣伝を積極的に行う。他県に向けたチラシかクーポン。
- 海ほたる、アウトレットを利用。
- ・海が見えるレストラン、食堂街に賛成。洋服以外にも買い物を出来ると場所を増やす。
- ・アクアラインの土日祝日の渋滞時間PM4：00～19：00をずらして、東京、神奈川に帰っていただく。
- ・ゴルフ客のために金田西に食堂街を作る。
- ・金田の竜宮城のご案内するために道路を整備する。

- ・映画館をつくってほしい。
- ・アウトレットから歩いて回れる施設を増やす。
(例) 観覧者。海の近くを整備して歩き回れるレジャーを作る。
- ・スロープや拡大文字板、車椅子、トイレの充実、段差ゼロを目指してほしい。
- ・高齢者でも行きやすい雰囲気作りが欲しい。(若者の品物が多い) 1度行ったらもういいよ、意見を聞く。
- ・足湯など買い物中にちょっと休む事のできる場所を作してほしい。
- ・駐車場までの道が分かりづらい。
- ・高齢者の方が気軽に立ち寄れる場所を近くにつくって、いろいろな世代が楽しめるようにする。家族連れで楽しめるように。

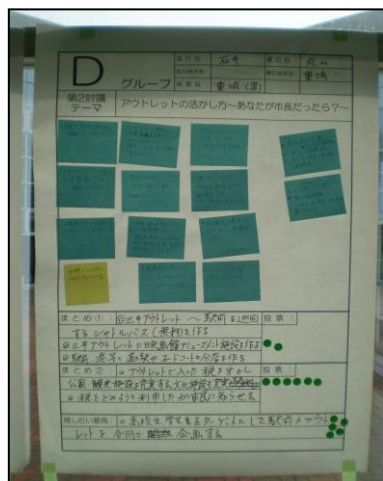
●【第2テーマ】Cグループ



まとめ1	【アクアラインバスの増便、料金の見直し】 ・外国人客の誘致、千葉の物産、食材をアピールする。 ・木更津市街地へ人を呼ぶ工夫をする。 (無料シャトルバスの運行など)
【投票】2票	
まとめ2	【子供用の施設】 ・映画館、絵手紙館などの文化的施設を充実させ一日いても楽しいところにしてもらいたい。
【投票】5票	
残したい意見	・市街地のみで使えるクーポン券をアウトレットで発行する。
【投票】0票	

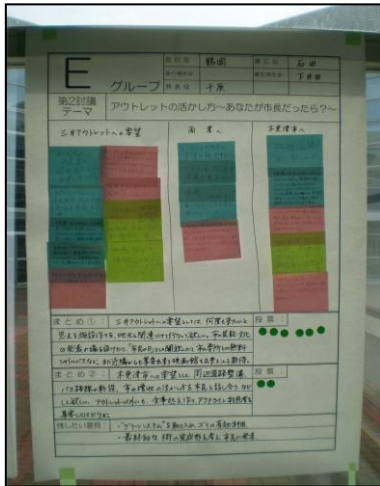
付箋(皆さんからの意見)	【三井アウトレットへの要望】 - 充実した内容、飽きさせない、接客、対応の良さ。 - また来たいと思わせるようなアウトレットにする。 - 子供用の施設を充実させる。 (科学実験・自然体験) - 物だけでなく、心が充実するところであってほしい。 - お金を使わなくても一日いても楽しいところであってほしい。 - ターゲットの20～30代以外の人達にも魅力のあるものを。 - お年寄りの方が楽しく外出できる環境を整える。 - 食事をする施設を充実させる。 - シネマコンプレックスを近隣に作り、アウトレット周辺で一日過ごせるようにする。 - 物より、文化的なものを誘致する。 (映画館・図書館 資料館など) - 市とアウトレットが、観光客が木更津駅中心街にも立ち寄りお金を落としてもらう仕組みをつくる。	【観光客の誘致】 - 外国人含め、房総観光の拠点にする。 - 必ずツアーに盛り込んでもらえる様に各旅行会社に売り込む。 - 高速バスの便数を増やし、料金を下げる。 - 金田バスターミナル停の増便、及び横浜便の設定。 - 金田からアウトレットまでの無料バスの設置。 - アクアラインの全候型風防を実施し安定した来客を見込む。
--------------	--	---

●【第2テーマ】Dグループ



まとめ 1	・三井アウトレット～駅前を巡回するシャトルバス（無料）を作る。 ・三井アウトレットに映画館、アミューズメント施設を作る。 ・駅前、港等に道の駅やフードコートの分店を作る
【投票】 2 票	
まとめ 2	・アウトレットで入った税を生かし公園、観光施設を充実する。文化施設も充実する。 ・税をどのように利用したか市民に知らせる。
【投票】 6 票	
残したい意見	・高校生、学生をターゲットにして駅前とアウトレットを合同で企画する。
【投票】 5 票	
付箋（皆さんからの意見）	・毎週土、日になると事故が多く交通面でどうにかならないのか？ ・三井アウトレットの周りの交通整備をきちんとして欲しい。 ・木更津駅までの無料バス（シャトルバス）を作ってほしい。 ・無料バスを増やし市民も乗れるようにする。 ・フードコートで食事をしていた時、閉店時間が21時ですと言われあわただしく食事をした。もっとサービス業なら考えてほしい。 ・周辺にファミレス、アリオみたいな施設、無料シャトルバス。 ・家族、市民が楽しめるように映画館を作る。観光を誘致したいのであれば市内の名所、名店を紹介するブースを作る。 ・木更津駅周辺に人が呼べるような建物を造る。 ・三井ならアウトレットよりもララポートの方が、どの年代の方も利用する。 ・道の駅を作って地元の物産を売る施設を作ってほしい。マザー牧場の物も入れて欲しい。 ・市内観光を案内するボランティアの養成をする。 ・アミューズメント施設の誘致。 ・近くに広い公園（アスレチック、緑が多い）、大きいお土産屋さんをたくさん作る、港の方に道の駅。 ・たぬき（ねこ）バス、食べ物の名物、フードコート内の店を中心街に開いてもらう。

●【第2テーマ】Eグループ



まとめ1	【三井アウトレットの要望】としては何度も来たいと思える施設づくりを地元と関連付けて行ってほしい。市の芸能・文化の発表の場を設けたり「市民の日」として開放したり市の要所との無料シャトルバスなど。また近隣からも集客できる映画館も出来ることを期待。
【投票】6票	
まとめ2	【木更津市への要望】として周辺道路整備、バス路線の新設、市の増収の活かし方を市民と話し合うなどして欲しい、アウトレット以外にも食事処を作り、アクアライン利用者を集客してはどうか
【投票】2票	
残したい意見	・「グリーンシステム」を取り入れごみの有効利用。 ・最終的な、街の完成系を考え市民に発表。
【投票】0票	

付箋（皆さんからの意見）	【三井アウトレットへの要望】 ・利用者が再度来たいと思わせるよう対策する事。 ・手間、スケジュールで木更津市周辺の芸能、文化を発表する場にしては。 ・木更津に住み始めた14年前空いた土地が沢山あったのでアウトレットでも出来るといいのと思ったけど飽和状態の現在ではあまり期待するものはない。 ・出来ればこれから広げていく敷地内に映画館が作られるといいのだが……。木更津市だけではなく近隣からも人が来ると思う。 ・店内に木更津市内の企業の商品ブースがあれば良いかなと思う。 ・木更津市民開放の日を作ってみたらどうか普段混んで、これない人もこれるし、大きな駐車場でイベントやフリーマーケット等も出来たら良いと思う。 ・家族全員が過ごせる場所になってほしい。 ・アウトレット→木更津駅、巖根駅に無料シャトルバスを設けてほしい。木更津港、駅周辺活性化、東京湾ナイトクルー等。 ・映画館を誘致してほしい。	【木更津市へ】 ・幹線道路がうまく動くように！ ・木更津の経済活性という点ではアクアラインを使って南房総方面へのバスツアーは人気があるようなのでそういう人たちをも引き込めるよう、ツアー前の朝食、あるいは帰途前の夕食を取ってもらえる食事処の集合施設があるといいのではと思う。 ・アウトレットが出来たことで得た市の財政増を市民にどう使っていくのか話し合いながら、必要なところへ必要なものを作してほしい。 ・袖ヶ浦駅西口開発と関連した取組みをしてほしい。道路整備、バス路線新設等。 ・市が中心となって街づくりとして、皆がより豊かに楽しくできるような声を上げてほしい。 両者へ ・アウトレット利用者の苦情を解決する事。 ・アウトレット周辺の環境を整美すること。 ・環境、グリーンシステムを取り入れゴミを出さない施設にして下さい。 ・周辺の施設を今後どのような形で盛り上げてくのか、又、建設予定されている企業等の情報が欲しい。 ・最終的なアウトレットを中心とした街の完成形を知っておきたい。

3. 第2討議テーマ結果まとめ

●得票上位3意見（獲得数／有効投票数）（支持率）

1位：・税をどのように利用したか市民に知らせる

・アウトレットで入った税を生かし公園、観光施設を充実する。文化施設も充実する。

（獲得数6票／42票＝14％）

1位：【三井アウトレットの要望】

何度も来たいと思える施設づくりを地元と関連付けて行ってほしい。市の芸能・文化の発表の場を設けたり「市民の日」として開放したり市の要所との無料シャトルバスなど。また近隣からも集客できる映画館も出来ることを期待。

（獲得数6票／42票＝14％）

3位：【子供用の施設】

・映画館、絵手紙館などの文化的施設を充実させ一日いても楽しいところにしてもらいたい。

（獲得数5票／42票＝11％）

●コーディネーター総括

午後は2回目ということもあり、雰囲気やディスカッションの流れなどを午前中の経験して頂けたので、スムーズなディスカッションに移ることが出来ました。

またテーマが「アウトレット」ということもあり、参加者の関心も高く、話題性も十分と見受けられ、活発な意見が出ていました。

ディスカッション開始当初は、「映画館があれば便利」など、自分にとって有益となる意見に偏っていたようにも思えたが、次第にアウトレットを利用して市政にどう活用するのか、というサブテーマの「市長であったならどう考えるのか」と本質に迫ったディスカッションとなり、とても有益であろう意見ができました。

第4章 アンケート結果

1. 事前アンケート

送付総数 1,000枚 回答数 192枚

問1 あなたの性別はどちらですか？

1. 男性 68 2. 女性 124

問2 あなたの年齢は次のどの区分に該当しますか？

1. 19～29歳 17 2. 30～39歳 32 3. 40～49歳 29 4. 50～59歳 30
5. 60歳以上 70

問3 あなたのお住まいは次のどこにありますか？

1. 木更津地区 35 2. 請西・真舟地区 29 3. 清見台・太田地区 19 4. 貝渕・桜井地区 13
5. 港南台地区 4 6. ほたる野地区 2 7. 畑沢・波岡地区 22 8. 羽鳥野・八幡台地区 23
9. 清川地区 15 10. 岩根地区 20 11. 鎌足地区 3 12. 金田地区 7
13. 中郷地区 7 14. 富来田地区 8

問4 あなたの木更津市での居住年数（通算）は次のどの区分に該当しますか？

1. 3年未満 11 2. 3～5年 11 3. 6～10年 32 4. 11～19年 23
5. 20～29年 32 6. 30～39年 42 7. 40年以上 49

問5-1 あなたは将来も引き続き木更津市に住みたいと考えていますか？

1. ずっと住み続けるつもり 104 2. できれば住み続けたい 48 3. 転出する 9 4. わからない 30

（問5-1で3、4と回答された方のみにお尋ねします。）

問5-2 転出の理由を1つ選びご記入ください。

1. 仕事の関係 23 2. 子供の学校関係 4 3. 就職のため 2 4. 結婚のため 3
5. 親などの面倒をみるため 13 6. 住宅の購入のため 8 7. その他 10

問6 参加依頼書がお手元に届いたときどのように思いましたか？

1. 参加しようと思った 30 2. 参加したいが日程が合わない 76
3. テーマに興味がないため、不参加 19 4. 参加したくない 45 5. その他 16

問7 これまでに市民参加型の討議会や、タウンミーティング等に参加したことがありますか？

1. はい 3 2. いいえ 190 3. 参加したいと思っていた 16

問8-1 かずさまちづくりディスカッション（市民討議会）をご存知でしたか？

1. 知っていた 27 2. 知らなかった 173

（問8-1で1と回答された方のみにお尋ねします。）

問8-2 どのような形で、またはどのような広報媒体でお知りになりましたか？（複数回答可）

1. 以前参加依頼書がとどいた 5 2. 以前参加したことがある 2 3. 人を通じて聞いた 6
4. 木更津市公式ホームページ 3 5. 広報ささらづ 13 6. 青年会議所ホームページ 2
7. 新聞、ラジオ 0 8. その他 4

問9-1 討議テーマ「**高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～**」

のテーマに興味がありますか？

1. 非常に興味がある 112 2. 多少興味がある 186 3. あまり興味がない 66
4. まったく興味がない 13

問10-1 討議テーマ「アウトレットの活かしかた～あなたが市長だったら?～」のテーマに興味がありますか?

1. 非常に興味がある 78 2. 多少興味がある 144 3. あまり興味がない 94
4. まったく興味がない 18

問11 討議テーマとして興味があるものを教えてください。

1. 子育て支援について 97 2. 高齢者福祉について 186 3. 防災について 157
4. 環境問題について 20 5. 経済活性化について 166 6. 四市合併について 65
7. その他 18

■その他の意見

- ・学校統合 ・ゴミ回収問題 ・市政、財政状態 ・特になし ・木更津駅前のあり方 ・住み良い住環境について
・駅前をもっと活発に ・木更津港の美化

問12 地域情報やイベント情報はどのような広告媒体から得ますか? (複数回答可)

1. 木更津市公式ホームページ 41 2. 木更CON 10 3. 広報きさらづ 498
4. 地方新聞 33 5. かずさFM 14 6. 房総ファミリア 186
7. FORZA・情報彩載 103 8. 新聞折込チラシ 126 9. その他 13

問13-1 いままでに(社)かずさ青年会議所の事業に参加したことがありますか?

1. はい 36 2. いいえ 342

(問13-1で1と回答された方のみにお尋ねします。)

問13-2 参加した事業を教えてください。(複数回答可)

1. かずさまちづくりディスカッション 1 2. 市長選公開討論会 1 3. 四市合併運動 2
4. かずさ天才こども塾ゴルフ編 1 5. わんぱく相撲 1 6. ナイトウォーク 2
7. 音楽の森 3 8. やっさいもっさい 32 9. ジュニアボランティア 2 10. サマースクール 1

問9-2 討議テーマ「高齢者・障がい者を地域で見守ろう!～みんながおとなりどうし!～」

についてあなたの考えをお聞かせください。

(自由回答)

- ・現在、近所にお年寄りがいないのですがもし住んで居たら声を掛けたりして気にかけてあげようになりたいです。
- ・一人暮らしは隣人がわかっているでしょうからおせっかいになるが安否確認をおこなってもら。
- ・自治会では交代制で街区員を受けているので協力してもら。あとは関係機関と連携で。
- ・自分自身も高齢者に近づきつつあるのであれば良いと思うが、あまりにも入り込まれるのは躊躇する。
- ・私の娘が障害をもっており市役所の方がとても親切でありがたかった。
- ・木更津市には精神障害用のリハビリ施設があまり無く困っています。千葉市内まで行っている送迎用にバス等アクセスの悪さをカバーしてほしい。
- ・自分も高齢者となるがその時に不自由な思いをしたくない。
- ・まず、地域コミュニティが不完全である。(優先順位があるわけではないが) 隣同士の関係すらあやふやな所があるのでは? システム作りができるとよいと思います。
- ・物の豊かさよりも心の豊かさ、高齢者が淋しくなく安心して生活できるまちづくりが必要。
- ・核家族が多いので、幼稚園や小学校の頃から高齢者に接する機会を増やすと良いと思う。障害者についても同様。もっと社会に出てきてもらえるチャンスを増やしてほしい。日本では孤立している印象。
- ・福祉はとても大切な事だとはわかっているが自分が若く健康だと正直、他人事になってしまう。おそらくほとんどの人がそうだと思う。それほど生活の中で困っていない人は休日を使ってまで参加しようとは思わないと思う。
- ・わがままな高齢者を減らす活動。(自分勝手が多いので協力してあげたいと思えない)
- ・助け合い、いたわり合い、お互い様で生きているのが人の道とおもっています。ですが年々自己中心的な考えの人が増えているのか、弱肉強食の世の中が強く表われはじめていると危惧の念を抱いています。例えば昔は当たり前であった「お年寄りには席を譲る」その様な心をお互いに持てる弱者に優しい市であって欲しいと願っています。
- ・私は現在、公民館で高齢者の方々に体操に指導をしています。その方々を見てみると皆さんがだんだん元気になってくるように思われます。また参加者の方も体操を通し友達も増えここに来るといろいろな方に会えるので楽しみだという言葉がよく聞かれるようになってきました。
- ・現在、知的障害者の職場で働き、一緒に生活しているので地域の方との関わりはとても重要であることを、身をもって感じている。
- ・自宅の周りは高齢者が多いので地震や災害の時に高齢者同士、助け合うのは難しいので若い人達がすんなりとけ込める、コ

コミュニケーションの場などがあれば参加したい。

- ・震災時などに役立つ「おとなりどうし」の連携プレー、どの家が、どこの高齢者、障害者を確認、避難させるか決定する。
- ・両親も高齢になって来ているし自分達もいずれは高齢者になるので、まずは家族で話し合ってみたいと思います。
- ・自分達もこれから高齢者の仲間入りをするので、将来の環境に心配がある。最近の色々な事件では周囲がお互いに少し興味を持てば（見守りという意味での）防げる事柄があるのではと思う。
- ・私も高齢者です。障害者にならないためにタバコはやめました。タバコは万病のもとです。家族にとっても間接喫煙は非常に悪いです。私は酒もやめました。度を越えることが多いので。親近者がいない場合、高齢者、障害者は地域で見守る必要はある。
- ・障害者と一緒に住んで居ます。買い物に行くのに本当に困っています。昔は西口にそごうとかあり本当に便利でした。車に乗れないので生協とか配達してくれるのに頼っています。東口の開発に力を入れてくださる様をお願いします。
- ・少数意見だと思いますがあまりに「みんながおとなりどおし！」「近所の目が行き届いてる！」という感じだと息苦しさを憶えます。ただ「手助けが欲しい」という時に、気軽にアクセスできるような市の窓口などがあると良いと思う。
- ・親は生んだ責任もあり100%自分の人生を障害のある子供に捧げるが、親以外（兄弟など）には何の責任も無いことなので、障害のある子の人生まで背負わせたくはないのです。愛情があるとか無いとかではなく、親は自分の死後、その障害のある子は是非ともしっかりと施設で、できれば愛に包まれて過ごしてほしいと願っています。周りの親たちもほとんどがそう思っています。「地域で見守ろう！」などというきれい言ではなく、施設をしっかりと充実させて、安全で安心な生活をさせてやって欲しいと切に願っております。箱モノはお金が掛かるから地域で云々言っているのではないですか？（以前、市の福祉の方がはっきりそう言ったのをしっかりと覚えています。）しっかりと施設に入れることこそ（できる限りは親と一緒に暮らしますがその後は）我々障害者の親の、一番の希望です。
- ・難しいテーマで具体的対策が思い浮かばない。周辺住民の思いやりも必要だが、当人等の性格や社交性も関わってくるので、苦手な人等にどう手を差し延べるシステムを作るかが行政の考えるべき部分の様な気がします。個人的には老人会や町内会を通じて、気軽に集まって話せるいこいの場を提供する事は有効と思われます。
- ・一人暮らしの高齢者、障害者が増加している中で、こうしたテーマは非常に重要なテーマであると思います。孤立化しないようにコミュニケーションの機会を作ったり、バリアフリーを設置する場所を増やしていくなどといったことが必要であると思います。また、介護する方の負担は増えてきているので、その負担を軽減して社会全体でサポートしていけるような仕組みをうまく作って頂ければと思います。
- ・今後、自分が高齢者になった時、住みやすい町なのかどうか、子育てをしていた時にベビーカーで不便だった事を考えたら、もう少しバリアフリーを進めていかないといけないのでは？
- ・木更津市で生活するようになってから約2年半ですが歩道が整備されていなかったり街灯が少なく夜、外を歩くのに危険を感じたり、高齢者、障害者ではない私がそう感じるのに、高齢者、障害者にとっては優しくないことが多いのではないかと思います。交通も車がないと便利とは言えない。多方面からの支援が必要だと思います。そして高齢者、障害者に対してだけではなく。
- ・高齢者、障害者を温かく見守っていくということは、大変、重要、必要なことだと思うが、現状の問題はそれ以前”おとなりどおし”が高齢者、障害者に限らずあまり地域の輪を感じられないことだと思う。高齢者、障害者と区切ることに差別感を与えられるし、みんなひっくるめて”おとなりどうし”でつながる。それをみつめ直すということの方が良い。
- ・高齢者、障害者がなかなか外に出て来ないので、病院などのスロープに車椅子の人がいれば「押ししましょうか？」などと言えないけど、手助けをしようと思いつつも難しい。
- ・高齢者、障害者が家族にいても家族に負担のかからない金銭的、精神的な支援ができるような社会になってほしい。
- ・参加しやすいことが大切。
- ・障害児を市内で育てる際、公的な専門機関がないように思う。その為、乳幼児期は子育てしにくそう。また必要な療育を早期に受けることが出来ない。
- ・個人情報保護法が必要以上に守られており、その結果、善意の取組みもなかなか難しい。
- ・地域での活動に子供会や町内会がありますが高齢者、障害者の施設を訪問する行事、一緒に参加する、体を動かす運動会、ふれあえる機会をまず増やしていくことが大切だと思う。公民館や体育館を子供とお年寄りのために開放するとか、目的をもった施設の使い方でも良いと思います。その中でお互いを知る事が大切です。
- ・私達も高齢者になった時、または一人で暮らす様になるので公的の機関で援助を充分にしていただけるようお願いしたいと思います。それとボランティア等をお願いしてお互いに協力しあって生活していけたら良いと思います。障害者の人たちも同様です。
- ・自分が年をとってからあまり人との接点が好きではない人間なので、訪れてくれてもあまりあまりうれしくないと思ってしまっています。あまり知り合いも少ないし今後が心配です。
- ・老人ホームやデイサービス等なるべく安く利用したい。路線バスは高いので市内の循環バスを一周できるように走らせてほしい。
- ・自分の敷地内に車が止められるなら路上に止めるのではなく隣人に迷惑を掛けないように呼びかけてほしい。
- ・全国のモデルになれる活動を。
- ・独居老人の死亡や高齢者、障害者の不自由などを見聞きするのに、年を取れば不自由な身になることは皆同じと考え「隣近所の人々で互いに助け合う」「お互い様」精神で不自由を補っていくべきと思う。ただこの”お互い様”精神もお世話になった者だけが”モライ徳”では長続きしないので不公平が無いよう市・区単位でシステム化すべきであると考えます。
- ・今、マンションに住んでいますが同じマンションというだけで皆あいさつをしたり2、3簡単な会話をしたりします。年配の方々どうしとても仲が良いらしいと聞きますが日中子供を連れて会うととても温かく接してくれます。年配の方々にこ

- ちらの子供を見守られているような感じがします。同じマンションだというだけで、一歩外に出た時とは違う親近感をお互いに持っている気がします。”みんながおとなりどおし”というテーマを見て、そういったことを思いました。
- ・簡単なことの様で難しい事である。もっともっと交流の出来る場や機会が必要だと思う」。試行錯誤しながら色々なことを試してみても良いのでは。
 - ・まずはお互いがお互いに興味を持つことから始めてみてはどうか。そのきっかけをどうするかというアイディアが必要になってくるが、今後、街を支えていく若者に興味を持ってもらう機会が必要だと思う。
 - ・私が住む地域では街全体が、高齢者が多く活気もなくなってきました。その上歩いて行ける範囲にお店がなく、いわゆる買物難民になっています。宅配等のサービスが受けられるスーパーがあると高齢者だけではなく、障害者の方にも良いと思います。宅配の時に見守りというか無事を確認も出来るとおもいます。
 - ・今後高齢者が多くなるのは避けられないと思うので、このテーマは今後の課題だと思う。地域の人と人のつながりが今、薄れてきているので近所同士のコミュニケーションを大切にしたいが、しかしなかなかそういう場がないのが現実である。もう一度よく考えたほうが良い。
 - ・ロックタウンが商業地として発展しつつありますが、高齢者となり運転免許を返上してしまったり、自転車を持っていない人達のアクセスがまだ不便のようです。木更津としての町づくりが統一感もなく駅前極端なさびれ様にも市民として悲しく思います。駐車場の設置なども後手に廻り不便で見捨てられてしまったかと思います。バスの運行の見直しと地域コミュニティの設立支援を！
 - ・高齢者の運動教室があったら良いかなと思います。
 - ・テーマ1について色々と思う事はありますが今月は外出日が多く考えをまとめて書く時間がありませんでした。次回機会がありましたら参加したいと思います。テーマ2についても同様です。
 - ・これから高齢社会にたいして皆の意見を聞きたい。
 - ・地域で守ろうは全てのことに言えること。
 - ・近所にもかなりの高齢者や障害者がいる。自分自身も必ずそういう時が来ると思うととても心配で不安になる。少子高齢社会になって進んでいく社会の中で、若い人に迷惑ばかりは掛けたくない。そうなる前にもっと近所同志で助け合っている木更津市に成る様に少しでも協力したい。
 - ・高齢社会が進む中で重要な問題であり難しい問題。まずは高齢社会についてしっかり理解し自分に何ができるのか考えていくことから始めるべき。障害者の方々についても同様。
 - ・高齢者、障害者の方との接点がない為、どう見守ることが出来るかよくわからない。ホームヘルパーなどの資格がなくてもできるお手伝いボランティア（買い物やおそうじなど）を募って必要な方の支援をしていくのはどうでしょう。
 - ・独居の方の生活、元気で日常が出来るのであれば心配はないのですが、何かが起こった時が問題です。先日独居で認知症を持っている方が在宅介護を1日2回受けているのですが、夜行方不明になってしまいました。なかなか受け入れてくれる施設がなかったようです。何かが起きた時にやっと動いてくれる状態です。行政はどのようにお考えなのでしょうか。
 - ・高齢者だけ、障害者だけの施設を設けるのではなく一般の人たちも混在する形を考える。例えばシェアハウスに高齢者や独居で働いている人、大学生など（場合によっては小さな子供のいる若夫婦、母子家庭、父子家庭も）が住む。（多摩の方で実際あるのではないかと）障害者の方たちが作業する工房を小中学校に併設、あるいは隣接し小中学校の図画工作などの授業を障害者の人たちと一緒にやるなど。
 - ・一般の人たちが高齢者だけの家庭で困っていることを手伝い、それをポイントにして積み立て、街での買い物の割引券に交換など（これも既にどこかで実施している方法）を木更津市でも行ったら？
 - ・障害者の方々が自立できる社会が理想だと思います。高齢の方々は孤独にならないような社会作りが理想だと思います。
 - ・助ける余裕のある人が、助けてほしい人に早く出会える場が多く作られると良いと思う。
 - ・高齢者、障害者を地域で見守るには、通常の生活での地域内の交流が重要になってくると思う。デイサービスセンター（事業所）自体が地域とかかわりを持つようにする。地域の美化活動や小中学校との交流など行う。
 - ・地区の公民館など高齢者、障害者や若者も子供もみんなで集まって、いろいろな行事やリクリエーション、堅苦しくないお茶会などでもよいから、自分たちの回りの人をもっと知人にできる様な集いがあればと思います。
 - ・高齢化社会に自分も突入しつつあるだけに大変興味があります。年金が生活保護と逆転し、全てに条件が悪くなっている時代に益々、生活保護世帯が増えるだろうと思わずにはいられない。高齢者の孤独死、障害者の援助と暗い話題が山積みの社会で不安だらけです。電車に乗っても平気でシルバーシートを独占する若者も疑問！注意すれば刺される世の中！木更津だけでも身近な所から変えたいです。
 - ・町内会の役員の仕事が負担なのか、町内会費が負担なのか、高齢者が町内会を辞めて行っているのは問題があると思う。高齢者にはきちんと情報が伝わる町づくりをしなければ・・・。
 - ・障害にも色々あるので知識もないのどうやって見守れるのか。
 - ・昔はおとなり、部落が大変家族の様な付き合いが出来ていた。今は大分その関係が無くなって来ています。部落の中でも高齢者が大部分の現在、改めてこのテーマの大切さを実感しています。同時にどうしたら周囲の人達にこの気持ち（おとなりどうし！）になってもらえるか大変むずかしい問題かな？と思います。
 - ・高齢者の為、健康、体づくり、ラジオ体操を夏休み以外での各地区の交流。一般市民が介護、障害者サポートのお手伝いにもっと興味を持ってもらう為に、資格を取りやすくするシステムをつくる。
 - ・現実、高齢者社会なので行政としての役割は大きいと思う。きめ細かい市政を願います。障害者の医療費も一旦払ってその上で市役所に請求して後で帰ってくる方式なのでとても大変です。支払いの時点で処理が出来ないのでしょうか？実際の障害者の声を丁寧に聞いて、活かしていただきたいです。切実です。
 - ・自分も年老いていく中で、他人に対して優しい気持ちを持って高齢者、障害者の方たちへ手をさしのべられたらと思う。

- ・良い事だと思います。
- ・現在、ほたる野地区に住んでいるため、近所に高齢者があまり多くない状況です。近所の助け合いという観点ではアイデアが有りません。市として高齢者や障害者の家へ訪問されたりはしているのでしょうか？特に1人暮らしの方は心配や不安がありますので定期的に、また頻繁にお宅訪問した方が良いのではないのでしょうか？
- ・地域で見守る環境ができていれば助け合いの輪になる。その環境づくりが大切だと思う。
- ・介護や支援が必要な方が、閉鎖的な空間で人生を過ごすのではなく、地域の企業や催し、市民活動等を通して地域へと進出し地域の隣人として互いに支え合う社会にしたい。
- ・自宅の隣りで暮らしている祖父・祖母が共に80代半ばになり、父も母も共働きのため居ない時の祖父母の様子が気になります。そんな時に日中、お散歩などお互いに声掛けなどをしてもらえるような環境があればいいなと思います。
- ・個人情報管理が人を大切にする事を忘れ、非常時の助け合いが出来ない事で互助が出来ず人間性が忘失されている。
- ・以前町内会に入会していたが現在、脱会した。理由は近所トラブルがあるにもかかわらず町内会で解決させようとする行動が見られないため何のために町内会があるのか疑問に思ったからです。木更津も都市化した地域では隣近所のつきあいは、ほとんどなくテーマ1は大変難しい問題だと思います。小生の出身は木更津市ですが、大学から53才まで東京、横浜で生活して、7年前に木更津に里帰りして出生地とは離れた地域に住んでいました。現在の住居に住み始めて近所でのトラブルを聞いてガッカリしました。
- ・一住民として真剣に考えるべきと思うが問題が難しく、意見をまとめるのが困難である。基本的にはボランティア、或いは低報酬による巡回者を募り定期的に訪問するような仕組みを作ったらどうかと思う。
- ・障害者を見守る人は決まってしまう。みんな？
- ・近所同士でさえも顔の知らない方であったり、付き合いが希薄となっている。地域にどんな方がいるか、ふれあう機会があったら良い。(過去に私の住む地域では運動会があった。)地域の代表となると思うが週に何度かパトロールする。(その際に腕章や帽子などでパトロールだと分かる様に。)高齢者のみの家庭を把握し、ポストに郵便物、新聞などがたまっていないかチェックする。(玄関に目印となるシールなどを貼ると分かりやすいが逆に狙われてしまう?)一人ひとりがどんな人に対しても目を配っていける市であったら・・・。(国・世界であったら・・・。)
- ・高齢者、障害者だけではなく子供達をふくめて、トータル的に考えていく必要がある。もっと地域での活動参加をうながしていく必要があると思う。
- ・私が現在住んでいる地区内の横断歩道を通行時歩行者が居るにもかかわらず停車する車は一台も無く、スピードも落とさず通過するのがほとんど。高齢者が多くなった現在、安心して外出できない。又他市で運行している公共交通等も気軽に利用できるようにしてほしい。
- ・昔と今では、食生活が変わってきたからでしょうか、昔はお隣さん同士声を掛け合って、友達感覚で付き合いがあったように思いますが、今では自分さえ良ければ…という考えの方が多く、言葉は必要最低限で、事務的に処理しているように感じられます。そんな時代だから…と言えばそれまででしょうが、何故か淋しいです。一人ひとりが考えを改めて、お隣同士でのコミュニケーションをはかっていけたらいいな。と節に思います。同じアパートでも会う機会が少ないですし…
- ・木更津市地区社会福祉議会と様々な団体(特にJCは・・・)連携して情報の共有化、企画の協同をもっと積極的に行ってほしい。地域コミュニティをどう充実させるか?で「住む町」が良いかどうか?問われるところ…。各団体がそれぞれの企画をするのも良いが連携して企画する手法も検討して欲しい。
- ・自分のことで精一杯です。(もう70歳近い)
- ・現在、通所の障害施設で支援として仕事をしておりますが、毎日世話をしている親の方も年を重ね、障害をもつ子供さんも高齢化が進み、安心して生活させてもらう障害者の老人施設が少ないのではないかと思います。自分の老後より障害を持つ子供さんの老後を心配されている事が現実です。
- ・住居に不安があり、老人ホームの様な所が多く出来たらと思っております。施設が少なく、待機者が多いと伺っております。これから増え高齢者が多くなり不安を抱えている人が安心できるような市になって頂きたいです。
- ・精神障害者医療費助成金はとても興味があります。私は無収入なので、この制度を知り少し安心しました。私はあまり文書を理解することができません。市役所に書類を持ち込むと記入もれで何度も足を運びます。障害福祉課だけでも良いので、わかりやすい説明をしていただけませんか。障害者でも一人ひとり違います。それだけでもわかっていただけますでしょうか。私が住んでいる地域には小学校があり子供が沢山います。通学時になると、まるで汚いものを見るように障害者を見ます。地域で見守るとはまるで正反対です。
- ・高齢者、障害者を見守る為にも、金(税金)が掛かるとおもう。同じ金をかけるなら自立できる体制を作るために金を使う。「みんながおとなりどうし」私は農業地区に住んでいるためなにかと近所付き合いがあるが、勤め人は機会が少ない為近所付き合いが少ない。休日に市民参加型の催しが多くあれば良いと思います。
- ・私の住んでいる所は高齢者がほとんどで、特別の方以外は面識がない。市と一人暮らしのコミュニケーションが無いようなので状況がわかっていないと感じている。
- ・見守るというのは、どう見守るのかよくわからない。どの程度高齢者・障害者が見守ってほしいのか。
- ・地域で見守ろう、みんながおとなりどうし。というテーマすごくよいと思います。私は真舟に住んでいます。防災パトロールや交通安全(子供の通学)でボランティアの人が活動しています。
- ・交流がないせいか、あいさつ程度のお付き合い位である。特に高齢者は独居が増えているので気になります。
- ・私自身高齢者になりつつ有り、時々怖いと思うようになりました。「みんながおとなりどうし」ホッとしました。人を支えつつ又自分自身をも支えられている。パッチワークをしています。仲間の人達にどんなに助けられているか。私は幸せ者と思っています。
- ・障害者が、本当に障害があるのか?補助金が適正か。ニュースにもあったように障害がないのに補助金を払っていないか!

- ・障害者だからと言って土足で入り込むのは嫌だと思えます。自身がアピール又はお願いしたら助けてもらいたい。
- ・文京に引っ越してきて思ったこととして、引っ越しのあいさつに行っても家から出て来ない。なんか、嫌われているようでやさしい気持ちにならない。
- ・高齢者・障害者の大変さは他の人にはわからない事や苦勞が多いので、他人事にはしてはならない。
- ・地域にボランティア活動を推進する。(活動費の補助)
- ・自分自身が高齢になって木更津に転入したので、行政や福祉のことなど未だに調べてないのでとても不安。「遠くの親戚より近くの他人」のことわざの様に地域近隣で助け合えるところで暮らせたらと思う。もちろん自分が元気なうちは他の人を助けられる立場になって。
- ・親が高齢になってきたり、自分自身もこれからのことを考えると、どのようになっていくかと思いますが、具体的にどうしたいのかな。と思うところです。とても身近な事ではあります。
- ・個人より生活環境も生い立ち、考え方も違うので自分以外の人達の意見や考え方を聞いてみたい
- ・現在ある老人福祉の施設内での厨房の仕事をし、ホールでの喫茶店の仕事もしています。職員さんのランチを作り、いろいろお話をし、大変さ、楽しさも耳にしています。ある人は仕事をしながら親御さんもデイサービスに通わせて、自分の時間を作りながら現場にいる人もいます。事情がそれぞれ違っていますが、皆さん頑張って利用者さんの為に毎日奮闘しています。私も高齢者の部に入りつつなるべく自立しながら生活したいと思っています。
- ・親も自分も高齢になっていくので、何か家にこもらず出来る事を一人ひとりでできれば、自分のことは自分で出来る年が少しでも長く続けばよいと思っています。障害がある方も一生懸命自分のことをしているので、家族の方も大変だと思えますが、何が出来るのかよくわからないので、困っている時、小さいことでも気にかけてあげること、なかなか行動に出せないのが現実ですが考えることから。
- ・高齢者、障害者本人だけでなく、その周りの方の精神的なケア、話が出来場所というのが、もっと沢山あったら良いと思います。専門的な方との話を出来る機会も作ってあげられたら良いのではと思います。観覧版など、身近な情報でいろんな集まりの機会を知らせてあげたら良いのではとも思います。
- ・「高齢者の孤独死」という問題がマスコミ等で取り上げられている。都市化が進み隣人との関わりが希薄化しており、難しい問題となっている。私は町内会組織を強化し、一つの班・組から町内会執行部へ高齢者世帯やその一人暮らしの方の動向を吸い上げられるような、また町内会役員なり、メンバーが定期的に訪問していくようなそんな地域にしていかなければならないと思う。
- ・公民館・集会所など集まる場所の充実。

問10-2 討議テーマ「アウトレットの活かしがた～あなたが市長だったら?～」

についてあなたの考えをお聞かせください。

(自由回答)

- ・実際に一度行って見たが「たいした事ない」という印象。最初はみんな興味を持つだろうが、海の向こうに住む人達がアクアラインの往復通行料を払ってまでリピーターになるとは思えない。とはいえここ数年木更津がTV等でもよく取り上げられるのは市民として大変喜ばしいと思う。
- ・商品の値段が高いイメージがあります。
- ・店によってはアウトレットでも値段が高く手が出ないので、値段を考えてほしいと思いました。
- ・アウトレット周辺の道路の整備や地元のお店の活用もしてほしい。
- ・アウトレット人気を棧に木更津中心街の活性化を図るべきと考えます。この為には木更津の良いところをPRし、集客手段を考えるべきだと思います。商店街の特徴等NPO活動の利用、又は観光事業の起業支援していく事が良いと思う。
- ・みんな一度はアウトレットに行きたいと足を運ぶが、リピーターになる為にはアウトレットだけではダメだと思う。廻りに魅力ある観光等がないと。子供は基本的に買い物は好きではないから、家族連れを取り込むには、観光等したついでにアウトレットに寄ってもらうようにしないと。大人も子供も楽しめる何かがないとアウトレットも続かないのでは?
- ・広大な土地のようですから子供から大人まで鑑賞できる草花とかバラ園を作る。(ベンチを設置)
- ・木更津の歴史資料、芸術品の紹介・展示。
- ・衣類は若い人のブランド品が多いと言われますが、質の良い安い物も取り入れてほしい。(中高年用も)
- ・せっかく大型の商業施設が出来たので、隣接して高層タワーの建設を企画していただき、横浜のようなランドマークタワーを目指し、企業収益も含め話題性も期待したい。
- ・本当に実施していただきたいのは都市部とのアクセスの悪さです。アクアラインは確実な時間が見込めず通勤が大変です。交通費も高くなっています。鉄道がアクセス出来ればと思う。アウトレットはその起点となれば?
- ・10年後に維持ではなく発展していることが望ましいと思います。「時間が違った形でつづせる」ことが出来れば、ずっと人が集まると思います。A店が混んでいる場合、B店へ、またはC店で映画館。これが充実していればOK。(ただし同系統の店には限界あり)
- ・木更津の特色を出す空間。木更津のテーマパークのような空間を作る。(イベント広場等)
- ・子供から高齢者が楽しんでくれることが大事。また「行きたいね」と言われる場所には「物」より「心」の豊かさを求めたい。とにかく休む空間が少ない。あの場所は若者だけの場所に感じました。
- ・まず渋滞を発生させない。道路整備は必須。地元住民には不要かつ迷惑でしかない。ブランドに興味のない人でも足を運んでみたくする工夫が必要。木更津ならではのSHOPやイベントとか。大型ショッピングモールと同様な設備。行政の最先機関としての働きも。

- ・アウトレットによって観光客が大幅に増えたが、アウトレット周辺に買い物をする場所がほとんど無いためアウトレットにのみ立ち寄ってすぐに帰ってしまう人が多いように思う。それでは余りにも勿体ないし、いずれ廃れてしまうので、周辺の都市計画をもっと速いペースで進めていくべきだと思う。観光客によって税収も増えているので以前よりも納得が得られやすいのではないかなと思う。
- ・活性化の一つとして大きな話題を呼んでいますが、どう継続、集客力を維持していくかが問題となります。行った感じでは、もう少し子供等も楽しめるポイントを増やしたり、買い物にあまり興味のない人も時間がつぶせる場所（映画館や公園）を併設できれば首都圏からの集客が望めるのではないかなと思います。
- ・アウトレットそのものにはあまり興味はないのですが、周辺の生活道路が混雑するのはとても困ります。まず先に道路について考えてほしいと思います。私自身はまだ行ってないので何とも言えませんが、行った友人の言う事には小さい子供が全然楽しめない場所だと言っていました。
- ・アウトレットの活かし方を考えるよりも、これからの人口減少社会や高齢化を見すえ、コンパクトシティ化をすすめ、いかにインフラ維持、コストの低減や中心市街地の活性化を図るなどを、地に足を着けて考えるべきだと思う。
- ・アウトレットから市内へ人を引っ張れないか？市内の閑散とした、街並みが淋しい。
- ・アウトレットで一定額以上購入すると、アクアライン代割引やガソリン代割引券を配るのはいかがでしょうか？他に市内で回ってほしい地区を訪れた場合は割引率を上げるのもよい。
- ・アウトレットが出来ても駅の近くに住む私達にはあまり関係ありません。昔がとても懐かしいです。
- ・アウトレットが有ることは刺激になり良い事です。またアクアラインを料金800円で行くことです。リピーターを増やすことも努力してほしい。
- ・一時的な他所からの集客ではなく、恒久的の方策をもって木更津市が繁栄する様にしてほしい。
- ・「アウトレットの活かし方」より先に木更津駅周辺や上総アカデミア地区の事を考えたほうが良いのでは？
- ・アウトレットが出来たことで、木更津市がさらに活性化して欲しい。
- ・私達の年代になると欲しいものが少なくなってきましたので、あまり買い物には出かけませんが、何か高齢者も気軽に行けるような催し物や足湯などリラックスできるような広場を作って頂きたいです。
- ・木更津市が益々活性化してくだされば、高齢者、障害者のケアも益々充実して来ますのでアウトレットの成功は必須と考えます。リピーターを多く呼ばなければ成功につながりません。木更津市民総出で取り組めたら良いのですが・・・。
- ・大道芸人や芸能人を呼んでイベントを行う。小さな子供用の広場を作って欲しい。（ただ何故、今、このテーマなのでしょう。アウトレットが完成した今は、今さらとしか思えません。どのような意図でこのようなテーマなのでしょう。）
- ・ほとんどのお店が若い人向きで、高齢者の必要とするものがとても少ない。近くに住んでいる者には土、日、祝、祭日の車の混雑が少しでもなくなって欲しい。
- ・アウトレットに来たお客様を木更津駅周辺に誘致し、駅前が活性化したりするのは難しいと思う。
- ・不利な立地にあるJR木更津を利用して頂くために、JR木更津からアウトレットにシャトルバス無料（損して得とれ！）、駅前に「道の駅」誘致、歓迎ムードを前面に出すなど努力、どうしたの？ショボンだ木更津。先日、木更津に来た方に、駅前の雰囲気から「木更津の人口3万人位？」と言われショックでした。
- ・ありません。若い人向けですから買う物もありません。
- ・映画館が無い。
- ・わくわく市場をもう少し魅力的な店とし、アウトレットとつなぐ。
- ・映画館等…あったらよいと思う。
- ・アウトレットに子供が遊べるような公園があったらいいと思う。
- ・私は車がないのでまだ一度も利用していないが、今後バスを利用するなどして行ってみたいと思う。集客が最初だけにとどまることなく様々なイベント、ツアーの中に取り入れた企画をし、常に飽きさせないような取り組みをする必要があると思う。その周辺環境の整備。アウトレットだけではなく、他にも興味を持てるような施設（文化施設など）があったらよいと思う。
- ・アウトレット自体は三井が出しているものなので何とも言えないが、例えばその周辺にベシアだ病院だと様々な大型施設をつれてくるのもいいことだとは思いますが、でも木更津ならではのもの（レストラン、そういうものを食べられる、売っている）をもっと近くにもってきてはどうかと思う。映画館もいいものを早く作ってほしい。あまり関係がないが図書館も君津、袖ヶ浦レベルにして欲しい。
- ・外国人を含め房総観光の拠点にする。必ずツアーに盛り込んでもらえるように各旅行会社に売り込む。（軽井沢のアウトレットのように）
- ・木更津B級グルメを開発しPRする。（海老名パーキングのメロンパンのように、それ目当てで立ち寄るようなものを！）
- ・地域の活性化には効果があると思う。しかし多くの人がかかることから、地域の方々の生活に影響が出ないか心配。最低限のマナーを守り利用してもらいたい。
- ・もう少し地元との関連を持たせてほしい。たとえば漁業とか農業が3～5坪位の貸農地を作り、ファミリーで年に何回か来られるとか、毎年定期的にアマチュアも参加できる音楽祭を開くとか、市長や市議会議員がオープンスペースで話し合う場を設けるなどして見てはいかがでしょうか。
- ・中途半端な物にならないようにしてほしい。
- ・映画館、コンサート会場など買い物だけではなく遊べる施設をふやしたいと思う。
- ・アウトレットがオープンして行って見たのですが、品物が高級品ばかりで私には手が出ません。普通の日に行ったのですが人はいっぱい。これは良いのですがとても地面からの反射が強く熱かったです。駐車場も夜はわかりにくかったです。もう少し地域に合った値段の品物があればと思います。

- ・アウトレットへのアクセスの案内が不十分です。新しい木更津のマップも広く市民に知らせてほしい。木更津には映画館もなく市民の娯楽の場として、アウトレット近くに建設されると嬉しいですが誘致はできないかも。
- ・安い店舗を増やしてほしい。駐車料金はずっと無料で続けてほしい。毎月イベントを何かしたらどうですか。
- ・アウトレットが出来る前に官民で考えを巡らし実行しておくべくべき事である。多人数が集まる場所に一度だけではなく再度来ってもらうためには、人々の心の中に残るものがなければならない。混雑と渋滞ではなく。美しい環境とこれをチャンスに市をアピールする場を設けるべきである。海産物、農産物その他、地元特産品の展示、販売や「やっさいもっさい」踊り等イベント発表などをやるべきである。
- ・今の木更津アウトレットは、他にあるアウトレットとほとんど同じで、木更津にしかないもの（初出店とかではなく）が少ないと思います。”木更津”というものが印象づけられるものを置くとか、アウトレット以外にも足を運びたくなる物を置くといいと思います。（うまいもんマップとか）あと市民デーを設けたり市民が行きたくなる環境も欲しいです。
- ・この来客数を維持していくにはどうすればいいのか、客観的な意見かもしれないがあのフードコートには何回でも行きたいなと思わせ物があると思う。そしてこのアウトレット人気を生かして木更津の商業施設を活気づけてもらいたい。
- ・せっかく金田まで大人数の人が来ているのだから、その足を木更津中心部まで運ばせるにはどうするかを考える。
- ・アウトレットには大いに頑張ってほしいです。まだこれから充実していくと思いますが、まわりの地域も協力してきれいにすると良いですね。食事のモールでは何ヶ所かでハエがいてガッカリ、遠くからわざわざ来てくださった方が良かった！！又こよと思っ下さるようなサービスが大事だと思います。
- ・オープン当初はTVなどで注目されて、人がたくさん来ると思うけど一度来た人が二度目に来るか？と言ったら疑問です。イベントとかクーポンとか計画していくべきです。また地域の活性化と経済効果を目指して盛り上げてほしいと思います。2年後にテナント半分とかで？アウトレット失敗、だけは絶対にダメです！！
- ・外部の人が木更津にきてくれるのはとても良いことだと思う。イベントなどをもっととり入れアウトレットが飽きられないように。（あさり祭り、たぬき祭りなど）
- ・不況な時に大きな魅力を感じます。沢山の人が木更津に足を運んで、活性化して欲しい。法人税が少ない木更津市を助けてほしい。できることなら映画館が是非、木更津に欲しいので市の力で誘致して欲しい。今は他市に出向いて映画鑑賞をする人が多数います。折角できた商業地にさらに若い人ばかりではなくシニア層も喜んで行けるようにして欲しい。
- ・公園は入っているのでしょうか。子供達や大人も楽しめる様な公園があると良いです。
- ・休日はアウトレット内の食堂は混んでいるので、木更津市内の食堂へシャトルバスを出す。アウトレットに出店している店の一部を木更津市街地内にも出店させて市内でも人を集める工夫をする。
- ・お客さんが市内にも足を運んでくれるような催し物等、企画したら良いと思う。
- ・アウトレットに来た人が木更津市に入ってきたくなるようなイベントかチラシを作成し、地域が活性化するよう道路の整備をします。
- ・アウトレットが出来て、どの位木更津市にプラスになるか、税金が入り豊かになるのであればと思いますが。映画館も欲しかった。
- ・アウトレット近くに飲食店モールや休憩スペース、子供が遊べる施設があるとより集客につながると思う。
- ・金田にがにぎやかになるのも良いが、防犯や事故の心配がある。アウトレットにも行ったがそんなに欲しい物はない。
- ・木更津に転入した13年前、土地がいっぱい空いているのだからアウトレットモールを呼び込んだらいいのにと考えていました。今回出来た訳ですが今さら？という感じです。南房方面へのバスツアーはそこそこ人気があるようですから、アクアラインを降りてすぐ、あるいは帰途、アクアラインに乗る前、ツアー客の朝食、あるいは晩御飯をとってもらような、広い食事処をアクアラインの近くに作るというのでは、と以前から思っていました。関東一の広さにするというアウトレットモールの一角に映画館を作ってもらっては？近隣に映画館が無いので沢山人が来ると思います。三井が無理なら木更津市の商店会で協力し合っても。
- ・市内の人は10%オフなど
- ・一度行って見たが若い人向けで、また行きたいと思わないし、県外の方が今は多く来られているようだが今後、長い存続できるか少し不安を感じた。
- ・地元の人に利益が回る様な中味提供する側、消費する側、両方にいいに考えてやって欲しい。
- ・アウトレットのスペースを活かして大型イベントを行う。例えば以前「気志団万博」を実施されたように、アウトレットイベントとして、気志団（もしくは知られているタレント）を呼び万博的な催しを望む。3カ月に一回など市民デーをつくり、アウトレットの買い物数が数%OFFなど特典をつける。他の地域の方にリピートしていただく為に「木更津手形」や「木更津パスポート」などユーモアを取り入れたリピート特典をつくる。
- ・飲食の場が少し足りていないと思われます。フードコートだけではなく、野外にも喫茶等出来るスペースが増えると良いのではないのでしょうか？また、来客者がより軽易にファストフードを食べられるようにアウトレット周辺にもファストフード店を増やすのも良いかと思ひます。甘いもの、冷たいもの等、女性や子供に人気のあるお店はいかがでしょうか？（フローズンヨーグルト専門店等）
- ・昭和30年代に戻し4市を合併させて1市にし、京浜地区の住人を移住促進させる努力が必要。
- ・アウトレットだけで木更津に来るのではなく、歴史ある木更津を魅力ある街造りをする事で、木更津駅前まで観光客に来て楽しんでもらえるようにしたい。またせっかく港もあるのでそれも活かしていきたいです。※アウトレット行のバスをレトロ風に変える事でそれに乗ってみたいと思っもらう。
- ・買い物目的の人だけではなく市民が気軽に行ける様な空間作りを望む。
- ・アウトレットの存続が少し心配。金田地区の土地改革は思ひの他、進んでいるが土地に不案内な車の事故多発している。交通標識の未設置や、現場と旧標識の不一致があるのが原因であろう。中年向きの商品を増やしてもらいたい。

- ・県外からの客を目的とするのではなく、市民も楽しめる様に周りに手頃な価格で買える雑貨屋や映画館などの施設も考えていきたい。
- ・討議テーマの主旨がおかしい。地元中小企業（商業者）の経営努力が足りず他力本願となっているように見受けられる。自社の今後を考えるならばゴーイングコンサーンを希望するならば現状努力すべき。外部環境のせいになっているが・・・。真剣に考えている人だけ集めて今後の対応策について意見集約すべきだと思います。中心市街地にやる気のある飲食店を集めて“〇〇通り”を形成、土地賃貸料免除、誘致したらどうか。その上でアウトレットと協力したらと思う。
- ・色々と古いしきりがあると思うが、若い世代からするとおもいきった街作りをお願いしたい。
- ・地域ごとに開店時間前の1時間を入場許可し、混雑の少ない中でショッピングが楽しめる様にする。（1週間おきに第〇土曜日は〇〇地域など）（安心安全メールの一部で呼びかける。）ご当地のB級グルメなど屋台を出して、お祭りっぽく木更津の美味しい物も知ってもらえるし、ショッピングにも行ける！たまにはスペシャルゲストを招待し、集客を！！市民向けのメールを作り、お得情報などを配信する。市民又は近隣の市民などで大規模な避難訓練をする。
- ・今回オープンしたアウトレットは若い人向けの店が多いようで、高齢者はちょっと行きづらい気がする。もう少し娯楽性のテーマを持った物が入れればより多くの人を呼べる気がする。また、アウトレットが出来たことにより駅周辺の空道化が進行するのでは。中心への目を向けさせる何かを企画したらいいのでは。
- ・敷地内に場所を設けて、木更津をアピールするために物産展を行いたい。今はパーキングエリアや道の駅等に産地直送の野菜など販売する場所が増えてきましたが、アウトレットでも産地の物を置いて買っていただきたい。衣類やフードコートはあるようですが。物産展でアピールしたいですね。（木更津を）
- ・地域住民の雇用という点には、大きな影響があったかもしれないが、所詮アウトレットモール目当てだけで、地域経済の活性にまで至っていないと思う。アウトレットモール内に周辺マップのようなものの設置や、積極的にTVやラジオで周辺情報を取材してもらえよう、市長自ら営業マンとなり、森田知事とともにアピールする！ドラマや映画のロケ地として使用してもらえよう、フィルムコミッション登録する。
- ・町中が増々さびれていくように思われます。駅周辺がもっと活気づくにはと考えるのでしょうか。考えようがないのでしょうか。
- ・TVで騒ぎすぎているのを見て興味がわかりません。マスコミの騒ぎ方を見て行く気が失せました。行き方がわからないので、行く気がしません。デパートのように店員のプライドが高そう。私が市長だったらエレベータを増やします。段差をなくします。手すりを増やします。ベンチを増やします。車の免許を持っていない人も世の中にはいることも考えて頂きたかった。スーパーのように親切な店員がいなそう。
- ・木更津といえば、世間では海、のり、あさり、はまぐりのイメージです。関西地区からの人達からもそう見られています。誰でも自由に入れる干潟、海あそび、釣りの出来る場所を整備。アウトレットのリピーターが自由に遊ぶ事の出来る海辺を確保する。
- ・映画館があれば、年に何回か行くと思いますが。ブランドにはあまり興味が無い方です。
- ・木更津市のアウトレットのPR（TV・チラシなど）が不足していると思う。近県の人に来てこられるための交通手段が自家用車が主で他に何かあることを知らない。
- ・まだアウトレットへ行っていないが、イベントやライブ会場に使う！すたれないように少しずつ他県民へ情報を流す。
- ・市外からの来客が帰りに立ち寄りたくなるお店があれば経済活性につながると思う。木更津の物産展（干物ばかりではなく活の物）その日の夕食の材料、お惣菜を買える食品店など。
- ・まだ出来たばかりで他県ナンバーの車が多くて渋滞が困ります。映画館があると良かったと思う。（子供達）
- ・アウトレットを利用し、地域活性化や市税を増やせる様アクアラインを利用する県外からの移住者のためにバス会社に強く運賃値下げを働きかける。
- ・アウトレットに映画館など娯楽施設を作ってほしい！
- ・木更津の住民は、バス代を無料にしてほしい。そしたら気軽にアウトレットに出かけると思う。
- ・アクアラインに鉄道、道路を設備。つぶれないようにがんばる。
- ・木更津の景気向上につなげて欲しい！！
- ・アクアラインの通行料は継続的に800円を維持する。集客増加のため映画館やボーリング場などの施設を誘致する。
- ・東京・横浜からの若い人達だけが集合してきてショッピングする場所だけでなく、せっかく地元木更津市に存在するのだから、何か地元デーみたいなこととか、すこし「アウトレットが木更津にあってよかったな。」と思える何か欲しい。年配の人達は「私達には関係ないところだ」と思っている人が多い。
- ・土曜日・日曜日の午後5時ごろ、東京湾横断道路・上り線の渋滞はひどいものである。これは、横断道路の交通容量（48,000台/日）を上回る交通量と、川崎浮島ジャンクションへの上りによるザク渋滞・首都高川崎縦貫線の整備の遅れ、トイレ不足による海ほたるパーキングへの人の集中などが考えられる。この渋滞を逃れる手段は時間をずらすことしかなく、木更津で夕ご飯を食べてもらうことを考えたらどうでしょう。B・C級グルメであさりカレーなどはどうか考えます。出来れば、ワンコイン500円くらいで食べられたらと思います。
- ・国内では、アウトレットの誘致によって地域の活性化に成功している例があるので、柔軟な発想が必要だと思います。
- ・県外のアウトレットに一度行ったことがあります。われわれ庶民には割安とはいえ手が出ません。人の話によると、ベンチが少なく疲れると言っています。子供の遊べるスペースがあるといいなとも。駅周辺との距離があり、あまり木更津市としての発展は期待できない。一局集中的で効果はあまり期待できない。
- ・集客により、地域が元気になる良いと思うが、その時だけになりやすいので、長く生かしていくのは難しいと思いますが、そこにいくと便利というものがなにか見つければ足を運んでもらえると思う。
- ・ショッピングだけでなく、イベントの回数を増やして沢山の人が集まれる楽しさを提供して欲しいです。

- ・「アウトレット」は民間企業が開いたものであり、活かすといっても。人の流れが増加すれば「みちの駅」の様な農・漁業産物を扱って、木更津ならではの物を造ってはどうか。ただし採算性を考慮する必要有。
- ・幅広く経済活性をするため市長自身の他県へのPRが必要。

2. 当日（参加者）アンケート（参加者22名）

問1 これまでに、市民参加型の討議会やタウンミーティング等に参加したことはありますか？

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| 1 はい | <u>0</u> |
| 2 いいえ | <u>22</u> |
| 3 参加したいと思っていたがどんなものがあるのか分からなかった | <u>0</u> |

問2 これからも「かずさまちづくりディスカッション」を開催したほうが良いと思いますか？

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 是非、開催すべきと思う | <u>14</u> |
| 2 開催したほうが良いと思う | <u>8</u> |
| 3 なくて良い | <u>0</u> |

問3 次回以降、「まちづくりディスカッション」の参加依頼書が届いたら参加しますか？

- | | |
|-------|---|
| 1 はい | <u>15</u> |
| 2 いいえ | <u>0</u> |
| 3 その他 | <u>7</u> テーマによって参加・・・3 他の多くの人に経験を・・・2
市の一生懸命さが伝わってこない・・・1 |

問4 今回の討議テーマ「**高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～**」についてどのように思いましたか？

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| 1 良いテーマだと思う | <u>14</u> |
| 2 普通 | <u>6</u> |
| 3 他のテーマの方がよい | <u>2</u> テーマが標語のようにになっている・・・1 |

問5 今回の討議テーマ「**アウトレットの活かしがた～あなたが市長だったら？～**」についてどのように思いましたか？

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| 1 良いテーマだと思う | <u>16</u> |
| 2 普通 | <u>2</u> |
| 3 他のテーマの方がよい | <u>4</u> 市長は経済について他力本願的ではないか？・・・1 |

問6 今回、上記2テーマでまちづくりディスカッションを実施しましたが来年以降新たなテーマとして適していると思うものをご記入ください。

- ① 木更津駅前の今後の発展について。
- ② 木更津市立図書館の利用法について。
- ③ 木更津市の文化遺産について。
- ④ 防災意識の一般化について。
- ⑤ 災害以後の市と市民のあるべき姿、準備について。
- ⑥ 木更津市が日本の未来をリードしていける自治体になるには。
- ⑦ 道路の整備、渋滞の緩和について。
- ⑧ 観光・経済などの地域の活性化について。
- ⑨ 環境問題、少子化、子育て支援、教育について。
- ⑩ 木更津駅西口の開発方法について、アインスビルの利用方法について。
- ⑪ 市民のスポーツの活性化について。

- ⑫ 木更津市の、未開発の土地の開発方法について。
- ⑬ 4市合併（木更津、君津、富津、袖ヶ浦市）について4市の市民での討論会の開催など。
- ⑭ 木更津市の現実と未来について。
- ⑮ 木更津市の広報（木更津市をもっと広く知ってもらうには）について。

問7 今回の開催時間（10時～16時）についてどのように感じましたか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1 長いと感じた | <u>7</u> |
| 2 妥当である | <u>13</u> |
| 3 短いと感じた | <u>2</u> |
| 4 その他 | <u>0</u> |

問8 コミュニケーションタイムをどのように感じましたか？

- | | |
|------------|-----------|
| 1 緊張がほぐれた | <u>11</u> |
| 2 打ち解けられた | <u>10</u> |
| 3 必要ないと感じた | <u>1</u> |
| 4 その他 | <u>0</u> |

問9 今回の情報提供時間（20分）についてどのように感じましたか？

- | | | |
|----------|-----------|--------------------|
| 1 長いと感じた | <u>5</u> | 事前に資料を渡してほしかった・・・1 |
| 2 妥当である | <u>15</u> | |
| 3 短いと感じた | <u>2</u> | |
| 4 その他 | <u>0</u> | |

問10 今回の討議時間（70分）についてどのように感じましたか？

- | | |
|----------|-----------|
| 1 長いと感じた | <u>3</u> |
| 2 妥当である | <u>16</u> |
| 3 短いと感じた | <u>3</u> |
| 4 その他 | <u>0</u> |

問11 今回の討議会で自分の意見を十分に述べることができましたか？

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 十分にできた | <u>11</u> |
| 2 ある程度できた | <u>11</u> |
| 3 あまりできなかった | <u>0</u> |
| 4 できなかった | <u>0</u> |

問12 今回の開催場所（木更津市民会館小ホール）についてどのように感じましたか？

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 良いと思う | <u>18</u> |
| 2 どこでも良い | <u>4</u> |
| 3 考えた方が良い | <u>0</u> |

問13 今回の謝礼金について。

- | | |
|---------|-----------|
| 1 妥当である | <u>18</u> |
| 2 必要ない | <u>2</u> |
| 3 安いと思う | <u>0</u> |
| 4 高いと思う | <u>1</u> |

問14 問13で3または4と答えた方にお聞きします。妥当だと思う金額を教えてください。

1 1,000円 1票

問15 今回、ディスカッションに参加したご感想をお聞かせください。

- ① 高齢者や障害者に対する介護など、自分なりに意識することができた。
- ② 他人と話し合う機会が持てたことが良く楽しかった。
- ③ 自分の住む町についてみんなで考えていく事が有意義であったという間に時間が過ぎた。
- ④ 引っ越してきて13年になるが本当に引っ越してきて良かったと思う。
- ⑤ 意見を持っていたても発言する場がなかったが、こういう機会をもてて良かった。
- ⑥ いろんな世代の人たちと意見交換ができて良かった。
- ⑦ プレジョブなど知らないことを勉強できて良かった。
- ⑧ 様々な職業、年齢の方の意見が聞けて勉強になった。
- ⑨ 今回の意見が少しでも具体化できるように頑張してほしい。
- ⑩ 本来、お金を出して参加すべきテーマだったと思う。
- ⑪ 今まで話し合う機会のなかった人たちと積極的に話し合えて良かった。
- ⑫ ディスカッションが良い経験になった。
- ⑬ 木更津市に対しての思いが深まったと感じています。
- ⑭ 異業者の人たちと知り合えて楽しかった。
- ⑮ 偶然、中学・高校の時の同級生と再会しみんなの頑張りが励みになりました。
- ⑯ テーマに対しての情報が少なく、ポイントが掴みづらい。
- ⑰ 事前の情報提供があればよかった。
- ⑱ いきなりディスカッションして下さいと言われても初めての参加で何をどう話し合うのか分からず面食らった。
- ⑲ 資料が読みづらい。
- ⑳ 1グループ5～6人位で良かったのでは？4人位だと意見が活発に出てこなかった。

問16 社団法人かずさ青年会議所を以前からご存知でしたか？

1 良く知っている 3
 2 知らない 9
 3 名前だけは聞いたことがある 10

問17 開催日について、参加しやすい曜日はいつですか？

1 日曜日 15
 2 土曜日 4
 3 金曜日 1

問18 今後このような事業を開催する際に、開催にたずさわりたいと思いますか？

1 思う 11
 2 思わない 5
 3 その他 6 その時の状況により・・・3

問19 かずさまちづくりディスカッションの報告書について過去年度の報告書をご覧になったことがありますか？

1 ある 4
 2 ない 18

問20 その他ご意見、ご感想などをお聞かせください。

- ① 貴重な経験ができて良かった。
- ② また参加したいと思う。みんなが住みやすい市になれば良いと思う。
- ③ 今後、このような事業を多くの市民に参加してもらえる様、宣伝してほしい。
- ④ やっさいもっさいは子供の頃に行って以来、行ってないので今度は参加したいと思う。
- ⑤ はじめてこのような会に参加できて楽しかった。
- ⑥ お弁当の肉がしょっぱかった。
- ⑦ 今まで報告書など目を通すことが無かったが、今後は目を通していきたいと思う。
- ⑧ 参加者には事前に資料を配布してほしい。
- ⑨ まとめの投票をなくし、市への答申内容を参加者に知らせてほしい。
- ⑩ テーマについては市民から募集したらよいのでは？
- ⑪ 投票はみんなの前でシールを貼るのに抵抗がある人もいるので、アンケートに記入でもよかったのでは？
- ⑫ かずさ青年会議所をほとんど知らなかったので、広告などでもっと一般に知らせればよいと思う。
- ⑬ もっと思い切ったアイディアが出るような工夫をしたほうが面白いと思う。
- ⑭ 謝礼金やお弁当などは自前で良かったと思う。貴重な予算と思うので本当に必要なところに使って頂ければと。
- ⑮ 木更津の町がさびれてしまったが、もっと観光客を呼べるように、町の案内図や三井アウトレットからの案内を作
ってほしい。
- ⑯ 観光案内できるボランティアを養成し木更津市の観光スポットを市民にも知らせてほしい。
- ⑰ 木更津市は全く活力が感じられない。公務員の皆さんは目いっぱい頭を働かせ、体も働かせてください。
- ⑱ かずさ青年会議所は何をする組織なのか結局解らなかった。

第5章 考察

「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」を終えて

まずは、「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」開催にあたり、多くの市民・関係各所の皆様にご理解ご協力を賜り、無事、報告書として取りまとめ作業が終了しましたことをご報告致しますとともに、心より感謝いたします。

私たち、社団法人かずさ青年会議所は2008年より木更津市と共催で5回目、2011年より富津市と共催で2回目と、「市民の市民による市民のためのまちづくり」を推進するため、「かずさまちづくりディスカッション」を開催して参りました。本年度も「プラーヌクスツェレ型」市民討議会を用い、木更津市と富津市において同時に開催を致しました。2市同時開催は全国的に見ても事例が少なく、このかずさ地域ならではの特色であり、市民の方々の関心が高いことや、「かずさまちづくりディスカッション」が地域に浸透してきた結果ではないかと感じています。

過去開催されましたディスカッション同様、テーマに関しましても地域の特色や問題点等を掲げ、市民の方々に討議して頂きました。参加者の皆様が真剣に、時には笑顔で活発な討議が行われ、地域を思うあつい気持ちやすばらしい考えが発表されていました。また、当日参加がかなわなかった市民の方々からも、アンケートを通じ多くのご意見を頂きました。この地域で生活されている市民が市政に関心を持ち、行政も市民の声に耳を傾けるといった、市長の挨拶にもあります協働という考え方のもと市民一人ひとりのまちづくりへの足取りを感じました。

この「かずさまちづくりディスカッション」が市民と行政の共感を得ながら、地域社会の発展活性化につながっていく素晴らしい事業であることを多くの方々に知って頂くと共に、この報告書をご覧頂きました皆様にもテーマや意見をご覧いただき、多くの方々と共有して頂ければと思います。

最後になりますが、我々社団法人かずさ青年会議所は「明るい豊かな社会を築き上げるため」自分たちの地域において青年会議所活動を継続して参りました。今後も皆様のご支援ご協力を頂きます様よろしくお願い申し上げます。

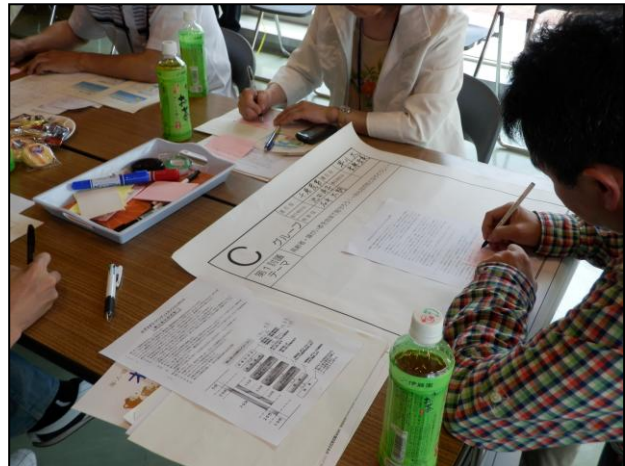
平成24年8月

かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津 実行委員会
委員長 大川 健 士



第6章 参考資料

1. 当日風景



2. 社団法人かずさ青年会議所と木更津市との協定書

協定書＜1 枚目＞

「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」の実施に関する協定書

社団法人かずさ青年会議所（以下「かずさＪＣ」という）と木更津市（以下「市」という）は、無作為抽出により選出され、参加した市民が「まち」の課題を討議する「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」（以下「ディスカッション」という）の実施に関し、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、ディスカッションの実施に伴うかずさＪＣ及び市の役割及び経費の分担並びに個人情報の取扱いを定めることを目的とする。

（実施に関する原則）

第2条 かずさＪＣ及び市は、協働の精神に基づき、お互いの立場を理解・尊重し、対等なパートナーの関係を保つように心がけ、多様な市民の声を集め、中立性・公平性を担保しながらディスカッションの円滑な実施・運営及び成果についての検証・評価に努めるとともに、開催に至る過程やその成果について市民に情報を公開するものとする。

（実行委員会の設置及び所掌）

第3条 かずさＪＣと市は、ディスカッションの円滑な実施・運営にあたるため、「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」実行委員会（以下「実行委員会」という）を設置し、次に掲げる事項を行うものとする。

(1) ディスカッションの円滑な実施・運営、広報、成果及び効果の検証・評価等に関すること。

(2) ディスカッションの実施状況を市民に公開すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、ディスカッションの実施に関すること。

（個人情報の保護）

第4条 かずさＪＣは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、木更津市個人情報保護条例（平成11年木更津市条例第4号）等を遵守し、個人情報の漏洩防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 かずさＪＣは、別記「個人情報保護取扱特記事項」に掲げる事項を遵守しなければならない。

（役割等）

第5条 かずさＪＣの役割は、次に掲げる事項とする。

(1) 実行委員会の設置及び運営に関すること。

(2) ディスカッションの広報活動に関すること。

(3) 「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」報告書（以下「報告書」という）の作成に関すること。

(4) ディスカッションに係る経費（次項第6号に規定するものを除く）の負担に関すること。

2 市の役割は、次に掲げる事項とする。

(1) 職員の実行委員会委員としての参加に関すること。

協定書＜2 枚目＞

(2) 広報きさらび及び市のホームページの活用並びに報道機関に対する広報への協力に関すること。

(3) 参加依頼書の発送及び参加申込書等の受付に関すること。

(4) ディスカッションの実施に必要情報の収集に関すること。

(5) ディスカッションのテーマに関する団体等との調整に関すること。

(6) ディスカッションに係る経費（参加依頼及び決定通知等の作成に要する経費に限る）の負担に関すること。

(7) ディスカッションの会場の手配に関すること。

(8) 参加を希望する市民等からの照会に関すること。

3 市は、報告書に記載された内容について、真摯に検討し、市政に活かすよう努めるものとする。

（有効期限）

第6条 この協定の期限は、かずさＪＣが市に対し報告書を提出する日までとする。

（その他）

第7条 この協定に関し疑義が生じたとき、又はこの協定に定めのない事項が生じたときは、かずさＪＣと市が協議して決定するものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、かずさＪＣ及び市双方が押印のうえ、各自1通を保有する。

平成24年 3月15日

千葉県木更津市諫西1丁目19番地
社団法人かずさ青年会議所
理事長 堀内 正人

千葉県木更津市潮見1丁目1番地
木更津市
木更津市長 水 越 勇 輝

協定書＜別記＞

別 記

個人情報取扱特記事項

（基本的事項）

第1条 かずさＪＣは、個人情報の保護の重要性を認識し、ディスカッションの開催に当たり個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

（秘密の保持）

第2条 かずさＪＣは、ディスカッションの実施に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。ディスカッションが終了し、又は中止した後においても同様とする。

（適正管理）

第3条 かずさＪＣは、ディスカッションの実施に関し知り得た個人情報の漏洩、滅失及び毀損の防止その他の個人情報の適正な管理のため、取得権限者の限定、保管場所の施設及び立入制限等の管理体制の整備等による権限外の者のアクセスの防止等の個人情報取扱ルールを整備し、安全管理に関し必要な措置を講じなければならない。

（事務従事者への周知）

第4条 かずさＪＣは、ディスカッションの実施に関する業務に従事している者に対して、会員在任中及び退会後においても、ディスカッションの実施に関し知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないこと、その他の個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

（個人情報の目的外利用・提供の禁止）

第5条 かずさＪＣは、ディスカッションの実施により知り得た個人情報をディスカッションの目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

（委託の禁止）

第6条 かずさＪＣは、ディスカッションの実施に関する個人情報を取り扱う業務については自ら行い、第三者にその取扱いを委託してはならない。

3. 参加依頼書、参加申込書

【参加依頼書：2 枚】

平成 24 年 5 月 吉日 各 位 「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」実行委員会 社団法人かずさ青年会議所 理 事 長 堀 内 正 人 木更津市長 水 越 勇 雄 「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」への参加のお願い ～ より多くの声を市政に届けよう ～ 拝啓 新緑の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。 さて来臨の件、幅広い市民の声を行政に届けることを目的に、社団法人かずさ青年会議所主催、木更津市共催により 5 回目となります今年も「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」と題し、下記の通り実施いたします。 ディスカッションの参加者を募集するにあたり、19 歳以上 70 歳以下の木更津市民の中から、無作為抽出方式で、1,000 名の方を選出し、この参加依頼書をお送りさせていただきます。 つきましては、開催趣旨をご理解いただき、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。 敬具 ※ 特徴 かずさまちづくりディスカッション（市民討論会） (1) 無作為抽出という方法により、これまで行政に声を届けるきっかけを持たなかった市民の参加を促します。 (2) 討論テーマについては専門家から情報提供を受けることができるため、専門知識を有しない方でも安心して参加できます。 (3) 市民の知恵や良識を行政に活かせるようプログラムの進行に従い各自の意見を出し合います。 (4) ディスカッションの手法や内容、及び成果について検証・評価を行い、報告書としてまとめ、公開します。 なお、過去開催の市民討論会報告書については、(社) かずさ青年会議所および木更津市公式ホームページに掲載してあります。 記 1. 日時 平成 24 年 6 月 24 日（日） 午前 10 時～午後 4 時（集合 9 時 45 分） 2. 場所 木更津市民総合福祉会館 市民ホール（木更津市潮見 2-9） 3. 討論テーマ テーマ① 「高齢者・障がい者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどし！～」 テーマ② 「アウトレートの活かしがた～あなたが市長だったら？～」	4. 参加定員数 25 人 申し込み多数となった場合には、下記日程にて厳正なる抽選をさせていただきます。 (1) 日時：平成 24 年 6 月 4 日（月）13：00～ (2) 場所：木更津市役所 4 階 会議室 (3) 要領：主催者による厳正なる抽選（長学自由） ※なお、個人情報取扱にきましましては、木更津市個人情報保護条例等の規定を遵守します。 5. 申し込み方法 (1) 参加を希望される場合 同封の参加申込書、アンケートに必要事項をご記入の上、返信用封筒により平成 24 年 5 月 31 日（木）までにご返送ください。 (2) 参加を希望しない場合 今後の参考にさせていただきたく、大変恐縮ではございますが、同封のアンケート用紙にご記入（無記入で結構です）の上、返信用封筒により平成 24 年 5 月 31 日（木）までにご返送ください。 6. 参加条件 ご案内宛先で本人様のみのご参加とさせていただきます。 なお、当日はマスコミの取材や市民の方の見学もございますのでご了承ください。 7. 参加決定、詳細のご連絡 後日、参加が決定した方には、当日の詳細についてご連絡させていただきます。 8. 昼食、謝礼 参加していただいた方に、社団法人かずさ青年会議所より、①当日の昼食、②謝礼 5,000 円をご用意させていただきます（源泉徴収所得税 555 円差引後）。当日受け取りの際に必要なとなりますので、<u>印鑑をご持参ください</u>。 9. 託児サービスなど 参加にあたり当日の保育（対象：満 1 歳から未就学児までに限らせていただきます。）をご希望の方はご利用いただけます。 参加申込書にその旨記入の上ご返送ください。 ご質問、お問い合わせなどがございましたら、下記までご連絡ください。 ＜問い合わせ先＞ 木更津市役所 企画部 企画課（担当 高橋） 〒292-8501 千葉県木更津市潮見 1 丁目 1 番地 電話番号：0438-23-7425 FAX 番号：0438-23-9338 メールアドレス：kikaku@city.kisarazu.lg.jp
--	--

【参加申込書：1 枚】

参加を希望される方は「参加申込書とアンケート」、参加を希望しない方は「アンケート」にご記入の上、同封の返信用封筒にてご返送ください。

「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」実行委員会
社団法人かずさ青年会議所
理 事 長 堀 内 正 人
木更津市長 水越 勇雄 行

参 加 申 込 書

私は、ディスカッションの目的、趣旨を理解し、平成 24 年 6 月 24 日（日）に開催される「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」への参加を申し込みます。

ふりがな _____

お 名 前 _____

ご 住 所 木更津市 _____

電話番号 () _____

携帯電話 () _____

メールアドレス @ _____

●託児サービスを希望されますか ☐ はい ☐ いいえ

希望される方は以下にご記入ください
お子様のお名前・年齢 名前：_____ 年齢：_____ 歳
(対象：満 1 歳から未就学児まで)

同封の返信用封筒にて 5 月 31 日（木）までにご返送ください。

木更津市個人情報保護条例等に基づき、本参加申込書に記載された内容については、「かずさまちづくりディスカッション 2012 in 木更津」の実施目的以外には一切使用いたしません。

～より多くの声を市政に届けよう～

かずさまちづくり ディスカッション2012

in
木更津

今年の
テーマ

- ・アウトレットの活かし方～あなたが市長だったら？～
- ・高齢者・障害者を地域で見守ろう！～みんながおとなりどうし！～

去年参加された方の意見



青年会議所のコーディネーターの方がとても丁寧で、安心しました。

大変勉強になった時間でした。ありがとうございました。

十人十色というように、新鮮な意見が聞けて良かったと思う。

色々な意見や考え方を聞かせて頂いて、有意義な時間でした。

思ったより積極的な話し合いで大変良かった。様々な年代の人の意見が聞けて良かった。

若い意見が聞けて良かったです。

日時 6月24日(日) 午前10時～午後4時

場所 木更津市民総合福祉会館(木更津市潮見2-9)

参加依頼書が届いたらぜひご参加を！

市政に声を届ける機会の少なかった人を含め、広い範囲の意見を伺い、木更津をより良いまちにしようという試みの1つです。
参加依頼書が届きましたら、ぜひご参加下さい。

※2008年～2011年の報告書は下記URLよりご覧いただけます。
かずさ青年会議所 URL: <http://www.kazusa-jc.com/>
木更津市 URL: <http://www.city.kisarazu.lg.jp/>

開催にあたって

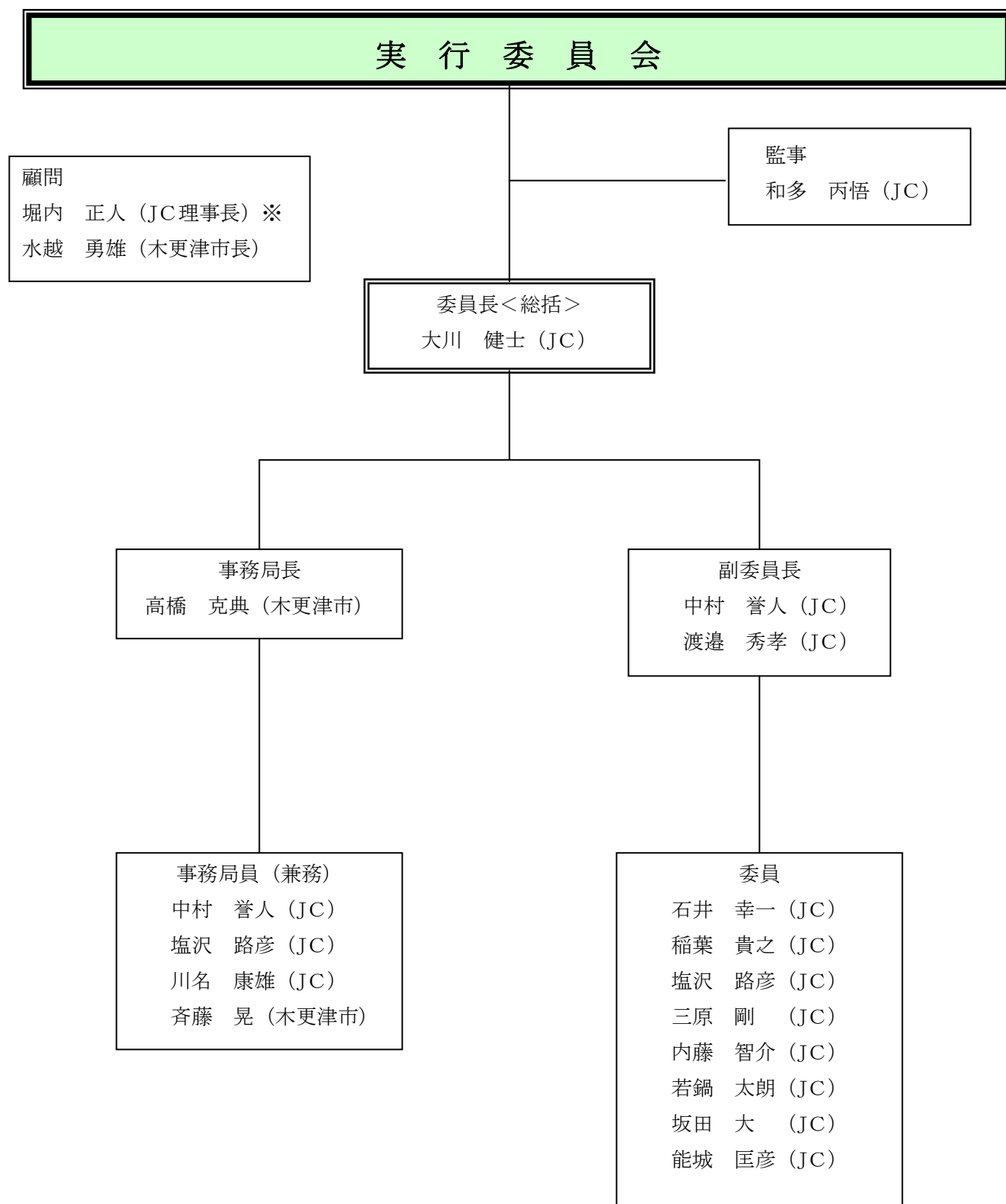
- ・19歳以上の全ての市民の中から無作為で抽出した1,000名に対し、参加依頼書を5月中旬に郵送します。
- ・定員は25名といたします。(申し込み多数の場合は抽選)
- ・参加条件として、ご案内宛先の本人のみの参加とします。



主催 JCI (社) かずさ青年会議所
共催 木更津市

お問い合わせ先 木更津市 企画課 ☎ (23)7425
✉ kikaku@city.kisarazu.lg.jp

5. 実行委員会組織表



※JC … Junior Chamber 社団法人かずさ青年会議所 の略



「かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津」 報告書

2012年8月発行

編集 かずさまちづくりディスカッション2012 in 木更津 実行委員会

発行 社団法人かずさ青年会議所

〒292-0801

千葉県木更津市請西1-19-7

TEL 0438-36-2609

FAX 0438-37-2605

E-Mail kazusa-jc@nwa.biglobe.ne.jp

URL <http://www.kazusa-jc.com>